

令和3年度
事業報告書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	4
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	5
3. 会議記録.....	6
4. 委員会.....	8
1) 委員会の所管事項.....	8
2) 委員会委員.....	9
3) 委員会・部会 会議実績.....	11
5. 自動車教育推進協議会.....	14
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	15
1) 機材提供活動.....	15
2) 教員支援活動.....	18
3) 協賛支援活動.....	19
4) 交流促進活動.....	19
2. 調査研究事業.....	21
1) 調査活動.....	21
2) 教材作成活動.....	23
3. 研修事業.....	25
1) 財団研修活動.....	25
2) 講師派遣活動.....	25
4. 普及啓発事業.....	28
1) 普及啓発活動.....	28
2) 広域普及啓発活動.....	29

〔Ⅳ〕 支援活動

- 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援..... 33
- 2. 研究会及び研究大会への支援..... 33

〔Ⅴ〕 組織運営

- 1. 理事・監事・評議員の異動..... 34
- 2. 委員会・部会の効率的な運営..... 34
- 3. 財務・経理の状況..... 34

〔Ⅵ〕 庶務事項

- 1. 事務局体制..... 35
- 2. 賛助会費・寄附金の状況..... 35

※ 添付資料

- 【資料1】 令和3年度講師派遣実績..... 36
- 【資料2】 令和3年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況..... 43
- 【資料3】 自動車技術教育の現状と課題に関するアンケート（サマリー） 45
- 令和3年度事業報告附属明細書..... 47

〔Ⅰ〕令和３年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。令和３年度においては、コロナ禍が続き一部の活動が制約を受けた。一方で、令和３年度の目玉事業に掲げたP I U S（分解組立式小型電気自動車）特別講習や動画学習サイトのコンテンツ作成等を計画通り実施したほか、コロナ禍の下でも対応可能な高等学校に対する支援・情報提供に取り組んだ。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために取り組んだ。自動車技術教育用教材の継続提供に対する高等学校からの強い要望に応えるため、広域公募を継続すると共に、コロナ禍により教育懇談会の開催が制約される中で、アンケート方式による教育現場の意見集約を実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「交通」「環境」「交通安全」「自動車」の４テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を実施し、その結果を動画学習サイトで情報発信した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

１．自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業は、東北・中部・関西地方の１５府県３１３校を対象に自動車技術教育用教材提供の公募を行い、対象地域全てから前回（平成３０年度）募集と同数の１０２校の応募があった。審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全１０２校に教材の提供を行った。これで平成３年からの提供校累計は２,２０３校となった。

また担当教諭の技術知識や指導力向上支援一環として、汎用エンジン提供校（３５校）への訪問・電話指導、分解組立用エンジン提供校（８校）への解説DVDの提供、技術系講師派遣（２４件）を実施するとともに、エンジンの分解組立指導に不慣れな教諭向けに汎用エンジンの分解組立用解説動画を作成し、財団HPに公開した。

教育懇談会はコロナの影響が軽微であった３県（青森県・岩手県・宮城県）にて実施し、コロナ禍により開催を断念した１２府県においては、教材提供校に対して自動車技術教育に関する現状と課題に関するアンケートを実施し、この集約結果を自動車教育推進協議会と共有した。併せて自販連各府県支部に「インターンシップ等相談窓口一覧」作成交付を依頼し、教材提供校と各地域の教育委員会に提供し高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

２．調査研究事業

調査研究事業では、国内調査を３回実施した。配送ロボットの実用化、電動キックボード

の利用拡大、MaaS 導入に向けた取り組みについて調査した。海外調査は当該年度もコロナ禍により中止したが、コロナ禍で加速するクルマのインターネット販売の現状に関し、日産自動車の米国事業統括会社 北米日産より情報・データを収集した。これらの調査結果を動画化の上、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載し、広く高等学校への展開を行なった。

また公民科の新科目となる「公共」用の副教材として令和 3 年 1 月にウェブサイトで公開した“「公共」副教材 2021”の改訂を実施。先生方へのヒアリング及びウェブアンケートでの主要な意見を反映した他、掲載データ・情報も更新し、“「公共」副教材 2022”として令和 4 年 1 月に公開した。加えて、教育現場の ICT 化の進展を踏まえ、既存副教材のデジタル化に着手。クルマや自動車産業を通してマクロの経済・社会との関わりについて考える副教材「クルマを通じて社会を考える」内の「I 地球温暖化」「II 資源・エネルギー問題」両章のデジタル版を作成した（公開は令和 4 年 4 月 1 日）。

3. 研修事業

研修事業では、財団研修活動として「教員研修会（JAEF 研修会）」を 2 回計画したものの、コロナ禍により 1 回の開催となった。毎年高評価の研修会を企画しており、今回も参加者 33 名全員から高い評価を得た。一方、中止となった研修会については講演及び体験実習動画を作成し、財団ホームページに公開したことで、全国の先生方へ広く受講機会を提供した。

講師派遣活動では、自動車技術、環境・交通技術、交通安全をテーマに、全国の高等学校を対象に公募活動を行い、申込校へ外部の専門講師を派遣した。令和 3 年度より交通安全の各メニューにて本格的に展開を開始したオンライン研修会の併用が奏功し、キャンセルを大幅に抑制することができたことで、実施件数は 282 件、受講した教員や生徒は 88,381 名と、コロナ禍前の水準に戻りつつある。

令和 3 年度に立ち上げた財団独自の出前授業である P I U S（分解組立式小型電気自動車）特別講習は、分解組立後に試乗を行っていることもあり、生徒からの評判も非常に高く、計画通り 6 回を実施した。

4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図るべく、令和 2 年度に開設した動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』にて、環境・エネルギー問題、乗用車やオートバイの最新技術などをテーマとした計 26 本のコンテンツを掲載した。

広域普及啓発活動として、従来のメールマガジン、フェイスブックに加え、令和 3 年 4 月よりツイッターでの情報提供を開始した。また、教育関連マスメディアとの関係構築、記事掲載促進にも注力し、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報発信を行った。財団ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）、支援メニューチラシ等のメディア・ツールにおいても、事業展開に合わせ適宜更新を行い、タイムリーな情報発信を実施した。

5. 組織運営について

令和3年度の財団事業は、第23回理事会（令和3年3月17日開催）にて承認された令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算に基づき、展開された。

具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これらの会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

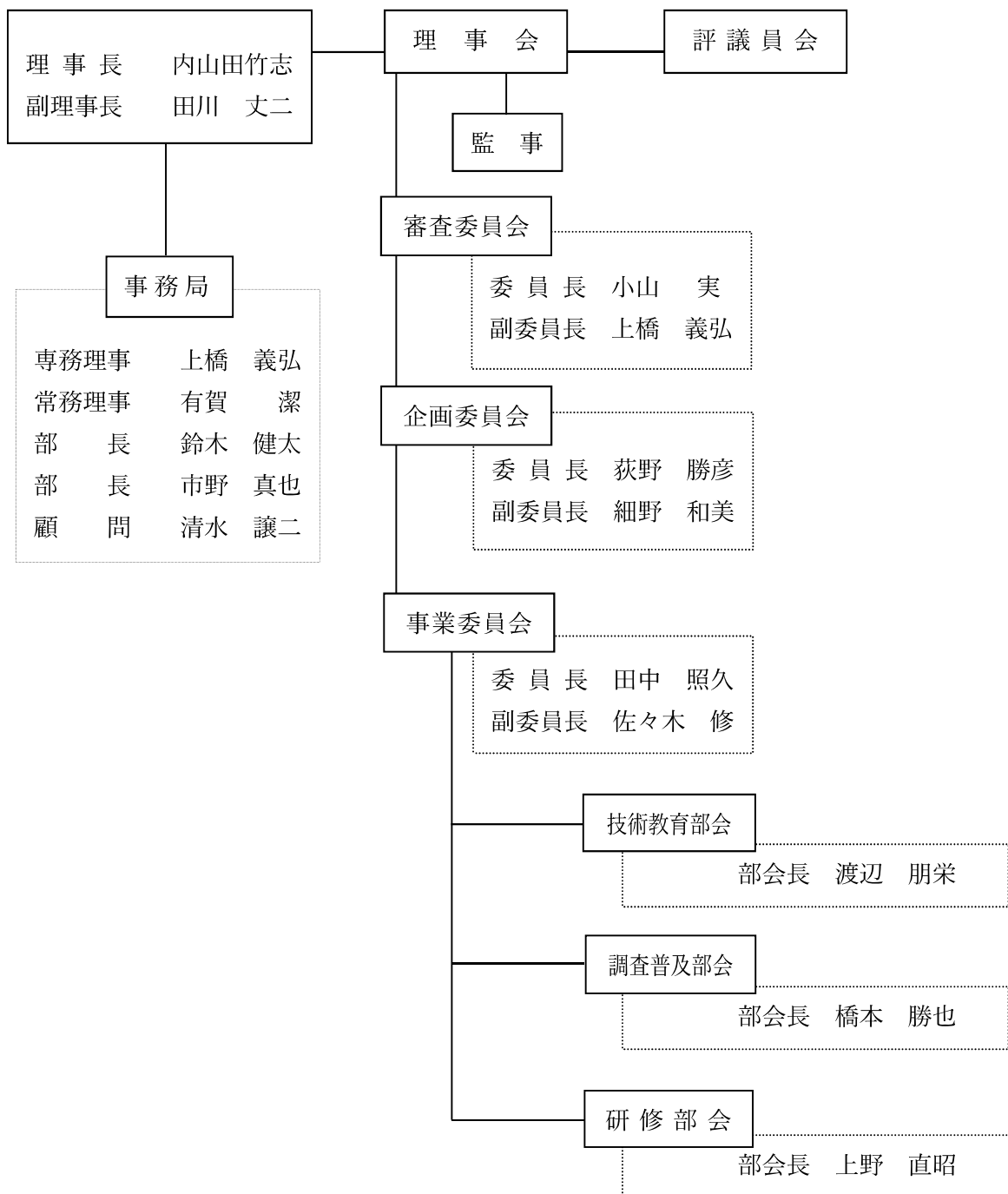
収支に関しては、収入は基本財産運用益が増加したものの、賛助会費の一部減額に伴い前年度から140万円減の7,590万円となった。支出は前年度に比べコロナ禍による事業への影響が縮小したことに加え、自動車技術教育への支援強化・学習形態の多様化等に対応する新規取り組みの実施により、前年度から1,445万円増の7,818万円となった。最終的な収支全体は、228万円の赤字となった。

〔Ⅱ〕組織

1. 機構

令和4年3月31日現在

敬称略



2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[令和4年3月31日現在]

(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	〔ト ヨ タ 自 動 車(株)〕	代表取締役会長
副理事長	田 川 丈 二	〔日 産 自 動 車(株)〕	専務執行役員 チーフアドバイザー 木村
理 事	永 塚 誠 一	〔(一社)日 本 自 動 車 工 業 会〕	副会長・専務理事
理 事	小 糸 正 樹	〔(一社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会〕	副会長・専務理事
理 事	木 場 宣 行	〔(一社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会〕	専 務 理 事
理 事	島 雅 之	〔(一社)日 本 自 動 車 連 盟〕	専 務 理 事
理 事	板 崎 龍 介	〔(一社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会〕	専 務 理 事
理 事	伊豆原 孝 彦	〔(一社)日 本 損 害 保 険 協 会〕	常 務 理 事
理 事	長 田 利 彦	〔(公社)全 国 工 業 高 等 学 校 長 協 会〕	顧 問
専務理事	上 橋 義 弘	〔(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団〕	事 務 局 常 勤
常務理事	有 賀 潔	〔(公財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団〕	事 務 局 常 勤
(以上11名)			
監 事	矢 野 義 博	〔(一社)日 本 自 動 車 工 業 会〕	常務理事・事務局長
監 事	山 崎 幸 雄	〔山 崎 幸 雄 税 理 士 事 務 所〕	代 表
(以上 2名)			
評 議 員	上 村 肇	〔全 国 高 等 学 校 長 協 会〕	事 務 局 長
評 議 員	鈴 木 光 俊	〔全 国 総 合 学 科 高 等 学 校 長 協 会〕	理 事 長
評 議 員	福 田 健 昌	〔全 国 自 動 車 教 育 研 究 会〕	会 長
評 議 員	大 山 敏 宏	〔全 国 公 民 科 ・ 社 会 科 教 育 研 究 会〕	会 長
評 議 員	柳 田 昌 宏	〔(一社)日 本 自 動 車 機 械 工 具 協 会〕	会 長
評 議 員	武 藤 孝 弘	〔(一社)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会〕	専 務 理 事
評 議 員	一 色 良 太	〔(一財)日 本 自 動 車 研 究 所〕	代表理事・専務理事
評 議 員	山 岡 正 博	〔(一社)日 本 自 動 車 会 議 所〕	専 務 理 事
評 議 員	波 留 静 哉	〔(一財)日 本 自 動 車 査 定 協 会〕	専務理事・事務局長
評 議 員	鈴 木 欣 也	〔(一社)自 動 車 公 正 取 引 協 議 会〕	専 務 理 事
評 議 員	入 野 泰 一	〔日 本 自 動 車 輸 入 組 合〕	副理事長 兼 専務理事
評 議 員	佐々木 誠	〔(公財)自 動 車 製 造 物 責 任 相 談 セ ン タ ー〕	常務理事・事務局長
評 議 員	吉 田 量 年	〔(一社)日 本 自 動 車 車 体 工 業 会〕	専 務 理 事
評 議 員	西 脇 尚 澄	〔(一財)自 動 車 検 査 登 録 情 報 協 会〕	専 務 理 事
評 議 員	鎌 田 聡	〔(公財)国 際 交 通 安 全 学 会〕	専 務 理 事
評 議 員	福 田 安 展	〔東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)〕	副社長執行役員
評 議 員	中 尾 公 哉	〔損 害 保 険 ジ ャ パ ン (株)〕	常 務 執 行 役 員
評 議 員	奥 田 尚 也	〔三 井 住 友 海 上 火 災 保 険 (株)〕	専 務 執 行 役 員
評 議 員	新 納 啓 介	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株)〕	取締役常務執行役員
評 議 員	安 部 典 明	〔本 田 技 研 工 業 (株)〕	常 務 執 行 役 員
評 議 員	小 飼 雅 道	〔マ ツ ダ (株)〕	相 談 役
(以上21名)			
最高顧問	豊 田 章 一 郎		
最高顧問	小 枝 至		

3. 会議記録

1) 第24回 理事会

- (1) 日 時 令和3年5月19日(水) 12:00~13:00
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館ローズA
一部理事はテレビ会議システム (Zoom) による出席
- (3) 議 案 ① 令和2年度事業報告および決算について
② 剰余金解消計画について
③ 第10回定時評議員会開催について
- (4) 報 告 ① 代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
『令和3年度事業進捗状況について』

2) 決議の省略による書面での評議員会 (第10回 定時評議員会)

- (1) 議 案 ① 令和2年度事業報告及び決算の件
② 評議員の一部選任の件
③ 理事及び監事の選任の件
- (2) 提案日 令和3年5月31日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和3年6月11日

3) 決議の省略による書面での理事会 (第25回理事会)

- (1) 議 案 ① 代表理事・業務執行理事等の選定の件
- (2) 提案日 令和3年5月31日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和3年6月11日

4) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ① 理事辞任につき後任候補者選任の件
② 臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和3年8月3日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和3年8月16日

5) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ① 理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和3年8月24日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和3年9月8日

6) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ① 理事辞任につき後任候補者選任の件
② 臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和4年1月25日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和4年2月4日

7) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ① 理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和4年2月15日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和4年3月2日

8) 第26回 理事会

- (1) 日 時 令和4年3月16日(水) 16:15~17:15
- (2) 場 所 芝パークホテル 別館アイビー
一部理事はテレビ会議システム (Zoom) による出席
- (3) 報 告 ① 代表理事・業務執行理事の職務執行の状況報告
『令和3年度事業進捗状況について』並びに
『令和3年度資産運用状況及び令和4年度資産運用計画について』
- (4) 議 案 ① 令和4年度事業計画及び収支予算について
② 剰余金解消計画について
③ 今後の理事会・評議員会開催日程について

4. 委員会

1) 委員会の所管事項

(1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

(2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

(3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

◎ 技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

◎ 研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

◎ 調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及啓発事業に関する事項

2) 委員会委員

令和4年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

(1) 企画委員会 (9名)

委員長	荻野 勝彦	〔トヨタ自動車(株)〕	渉外部第一渉外室担当部長]
副委員長	細野 和美	〔日産自動車(株)〕	渉外部 担当部長]
委員	井上 良太	〔三井住友海上火災保険(株)〕	自動車営業推進部長]
委員	河村 周	〔損害保険ジャパン日本興亜(株)〕	自動車営業推進部長]
委員	栃木 理江	〔三菱自動車工業(株)〕	総務渉外部 担当マネージャー]
委員	春木 健	〔マツダ(株)〕	東京総務部長]
委員	山田 高裕	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株)〕	自動車保険部長]
委員	吉田 秀彦	〔本田技研工業(株)〕	渉外部 担当部長]
委員	渡邊 崇志	〔東京海上日動火災保険(株)〕	理事 自動車営業開発部長]

(2) 審査委員会 (7名)

委員長	小山 実	〔日本工業大学〕	前教授]
副委員長	上橋 義弘	〔(公財)日本自動車教育振興財団〕	専務理事]
委員	荻野 勝彦	〔トヨタ自動車(株)〕	渉外部第一渉外室担当部長]
委員	加藤 秀次	〔日本工業大学〕	特認教授]
委員	栗田 博康	〔(公財)東京都中小企業振興公社〕	総合支援部企業人材支援課]
委員	鈴木 賢二	〔(公社)全国工業高等学校長協会〕	事務局長]
委員	田中 照久	〔(一社)日本自動車販売協会連合会〕	常務理事]

(3) 事業委員会 (7名)

委員長	田中 照久	〔(一社)日本自動車販売協会連合会〕	常務理事]
副委員長	佐々木 修	〔(一社)日本損害保険協会〕	業務企画部長]
委員	魚住 宏	〔(一社)日本自動車工業会〕	総合政策領域2部長]
委員	海老澤 勲	〔(一社)全国軽自動車協会連合会〕	管理部総務課長]
委員	柴田 年輝	〔(一社)日本自動車連盟〕	交通環境部部長]
委員	鈴木 賢二	〔(公社)全国工業高等学校長協会〕	事務局長]
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会〕	教育・技術部長]

◎ 技術教育部会（8名）

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株) サービス技術サポート部マネージャー〕
副部長	阿部 徹	〔日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外リーダー〕
委員	東 慎也	〔トヨタ自動車(株) 国内サービス部 技術業務室 東京サービスグループ〕
委員	片岡 保男	〔マツダ(株) 国内営業本部 ビジネス企画部〕
委員	木村 壮一	〔東京都立墨田工業高等学校 自動車科 教諭〕
委員	齋藤 洋仁	〔(一社)日本自動車機械工具協会 校正企画部 企画課 係長〕
委員	杉野 栄一	〔東京都立六郷工科高等学校 オートモビル工学科 教諭〕
委員	田島 良英	〔本田技研工業(株) 日本本部お客様部新機種サービス研修課 課長〕

◎ 調査普及部会（8名）

部会長	橋本 勝也	〔(一社)日本自動車会議所 理事〕
副部長	内藤 正史	〔トヨタ自動車(株) 渉外部 第1 渉外室 主幹〕
委員	浅川 貴広	〔東京都立蒲田高等学校 主幹教諭〕
委員	金武 晃	〔東京海上日動火災保険(株) 自動車営業開発部 部長〕
委員	竹村 公一	〔SOMPO リスクマネジメント(株) 自動車コンサルティング部 特命部長〕
委員	田中 裕司	〔(一社)日本損害保険協会 業務企画部啓発・教育グループ 課長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校 教諭〕
委員	光永日奈子	〔三井住友海上火災保険(株) 損害サポート業務部自動車チーム 課長代理〕

◎ 研修部会（8名）

部会長	上野 直昭	〔(一社)日本自動車連盟 交通環境部 事業推進課 課長〕
副部長	八木橋 稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会 登録事業部長 兼 法務部長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校 公民科 主任教諭〕
委員	石井 隆也	〔日産自動車(株) 日産横浜自動車大学校 校長〕
委員	笠原 剛	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 部長〕
委員	工藤 正行	〔(一社)全国軽自動車協会連合会 事業部 二輪事業担当部長〕
委員	柴田 文明	〔(一社)日本損害保険協会 業務企画部 啓発・教育グループリーダー〕
委員	山本 一哉	〔本田技研工業(株) 経営企画統括部 環境企画部 技術渉外課チーフエンジニア〕

3) 委員会・部会 会議実績

(1) 企画委員会

- ㊦ 令和3年度第1回 令和3年5月14日（金） 14:00～15:00

議題 ・ 第24回理事会提案資料について
・ 第10回定時評議員会提案資料について
・ 第25回理事会提案資料について

- ㊦ 令和3年度第2回 令和3年11月25日（木） 15:30～16:30

議題 ・ 令和3年度財団事業進捗状況について

- ㊦ 令和3年度第3回 令和4年3月8日（火） 11:00～12:00

議題 ・ 第26回理事会提案資料について

(2) 審査委員会

- ㊦ 第10回 令和3年8月2日（月） 11:00～12:00

※ 開催回は、公益財団法人移行後（平成24年4月～）の通算回数を表記。

議題 ・ 令和3年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考
（支援対象校及び支援内容の決定）
・ 助成先の決定

(3) 事業委員会

- ㊦ 令和3年度第1回 令和3年11月25日（木） 13:30～14:30

議題 ・ 令和3年度財団事業進捗状況について

- ㊦ 令和3年度第2回 令和4年3月8日（火） 9:30～10:30

議題 ・ 令和3年度事業進捗状況及び令和4年度事業計画（案）について

(4) 技術教育部会

- ㊦ 令和3年度 第1回 令和3年5月28日(金) 15:00～16:30

議題 ・令和2年度 自動車教育用教材活用状況について
・令和3年度 自動車教育用教材メニュー(案)について
・令和3年度 技術系講師派遣について
・PIUS特別講習
・DVD(視聴覚教材 自動車の基礎・電気パート)改定にあたって

- ㊧ 令和3年度 第2回 令和3年7月26日(月) 15:00～16:30

議題 ・令和3年度 教材提供活動 応募状況について
・令和3年度 審査委員会 提案内容について
・令和3年度 技術系講師派遣応募・実施状況について
・PIUS特別講習

- ㊨ 令和3年度 第3回 令和3年10月18日(月) 16:00～17:00

議題 ・令和3年度 技術教育支援事業の上期進捗状況について

- ㊩ 令和3年度 第4回 令和4年2月24日(木) 16:30～17:30

議題 ・財団 令和3年度活動実績ならびに令和4年度事業計画(案)
・技術教育支援事業 令和3年度活動実績ならびに令和4年度事業計画(案)

(5) 調査普及部会

- ㊦ 令和3年度第1回 令和3年10月26日(火) 14:30～15:30

議題 ・令和3年度 調査研究事業の進捗状況について
・令和3年度 普及啓発事業の進捗状況について

- ㊧ 令和3年度第2回 令和4年2月25日(金) 15:00～16:00

議題 ・令和4年度 財団事業計画(案)について
・令和4年度 調査研究事業計画(案)について
・令和4年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

㊦ 令和3年度第1回 令和3年10月27日(水) 13:30～14:30

議題 ・ 令和3年度 研修事業進捗状況について

㊧ 令和3年度第2回 令和4年2月14日(月) 13:30～14:30

議題 ・ 財団 令和3年度事業進捗・令和4年度事業計画(案)について
・ 研修事業 令和3年度事業進捗・令和4年度事業計画(案)について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部(一部地域は中古自動車販売協会を含む)により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各都道府県を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、弊財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

令和3年度は、コロナ禍により教材贈呈式及び教育懇談会の開催は3県(青森・岩手・宮城)のみで実施した。また自動車教育イベントも8件の依頼があったが、コロナ禍により3件が中止となり5件の支援にとどまった。

自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和4年3月31日現在

名 称	設置年月日 (平成)	会 長	事 務 局	
			事務局長	所在地 (連絡先)
北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	沖 田 俊 弥	福 田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (☎ 011-753-5162)
青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小 野 大 介	石 川 善 孝	青森市奥野1-12-3 (☎ 017-776-4211)
岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	千 葉 理 平	宮 野 和 之	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3 (☎ 019-637-2881)
宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	後 藤 誠	菊 池 憲 満	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (☎ 022-232-1571)
福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	金 子 與志人	安 藤 利 之	福島市吉倉字名倉1-1 (株)福島販会館 (☎ 024-546-1664)
秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	辻 良 之	佐々木 俊 幸	秋田市八橋大畑2-12-55 (☎ 018-862-1117)
山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	小 関 眞 一	鏡 道 宏	山形市大字漆山字行段1422 (☎ 023-686-4521)
新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	町 田 一 越	太 田 武 司	新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館 (☎ 025-285-6286)
(一社)長野県自動車販売店協会	13. 5.23	宇都宮 進 一	五 明 利 雄	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (☎ 026-226-5416)
茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	加 藤 敏 彦	市 川 昌 幸	水戸市住吉町292-5 茨城県自動車会館 (☎ 029-247-4860)
栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	小 平 雅 久	鈴 木 忠 明	宇都宮市今宮2-4-6 栃木県自動車会館 (☎ 028-658-8811)
群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	星 崎 功 明	星 野 朗	前橋市野中町564 群馬自販会館 (☎ 027-261-0830)
埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	茂 木 喜 明	塩 原 良 二	さいたま市西区大字中釘2255 (株)埼玉販会館 (☎ 048-623-1211)
千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	出 野 祥 平	齊 藤 充 弘	千葉県美浜区新港207 (☎ 043-242-3321)
東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	加 藤 和 夫	高 橋 哲 哉	品川区西五反田4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館3F (☎ 03-3491-8241)
神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	上 野 健 彦	大 蔵 幸 雄	横浜市都筑区池辺町3663 神奈川県自販会館 (☎ 045-933-3626)
山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	佐々木 宏 明	奥 石 光 彦	笛吹市石和町唐柏1000-7 山梨県自動車販売店会館 (☎ 055-263-3001)
富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	品 川 祐一郎	森 岡 富士夫	富山市新庄町字馬場18-8 富山県自販会館 (☎ 076-425-8353)
石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	要 明 英 二	松 田 等	金沢市直江東2-122-1 (☎ 076-238-5177)
福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	浮 田 啓 三	安 藤 和 博	福井市西谷1-1401 福井県自動車会館 (☎ 0776-34-1622)
岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加 藤 元 康	藤 川 正 人	岐阜市日置江2648-2 岐阜県自動車会館 (☎ 058-279-3761)
静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	太 田 勝 之	古 屋 勝 治	静岡市駿河区国吉田2-4-35 静岡県自販会館 (☎ 054-261-2177)
愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小 栗 一 朗	伊 藤 敏 男	名古屋市市中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館 (☎ 052-353-6161)
三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩 井 純 朗	福 田 泰 尚	津市雲出長常町字六ノ割1190-1 三重県自動車会館(新)会館 (☎ 059-234-4567)
滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	中 嶋 善 夫	井戸木 亘	守山市木浜町229-12 滋賀県自販会館 (☎ 077-585-7292)
京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	澤 井 孝 之	小 林 寛 二	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館 (☎ 075-671-6121)
大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	久 保 尚 平	大 塚 啓 次	寝屋川市高宮栄町13-1 (☎ 072-821-5522)
兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	瀧 川 高 章	木 村 淳 三	神戸市東灘区魚崎浜町33 兵庫県自動車会館 2F (☎ 078-441-1501)
奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊 池 攻	辻 隆 範	大和郡山形町部比伊981-8 (株)奈良県自動車会館 (☎ 0743-56-8458)
和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	中 谷 久 生	大 蔵 留 治	和歌山市湊1106 和歌山県自動車会館 (☎ 073-422-2027)
鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	米 原 良	但 住 和 雄	鳥取市丸山町246-1 (☎ 0857-24-6171)
島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健 造	久保田 茂 実	松江市馬場町43-4 (☎ 0852-37-0044)
岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	梶 谷 俊 介	谷 本 博 志	岡山市北区富吉5301-8 (株)岡山県自動車会館2F (☎ 086-259-3000)
広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	藤 井 一 裕	村 上 弘 人	広島市西区観音新町4-13-13-3 広島県自動車会館 (☎ 082-232-4418)
山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	小 川 秀 夫	藤 原 裕 宜	山口市葵1-5-58 山口県自動車会館 (☎ 083-922-0909)
徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	北 島 義 貴	三 宅 徳 明	徳島市志保町志保神産薬町地1-6 徳島県自動車会館 (☎ 088-641-2665)
香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	星 合 貴 彦	一 宮 軌 善	高松市香西東町278-1 (☎ 087-881-4996)
愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	松 田 卓 恵	竹 葉 晃	松山市森松町1075-2 (☎ 089-956-2747)
高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	佐 藤 誠 三	秋 山 教二郎	高知市大津乙1879-5 高知県自動車会館 (☎ 088-866-6000)
福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金 野 誠	川 原 芳 昭	福岡市東区千早3-9-23 福岡交通会館 (☎ 092-681-5963)
佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前 田 博 憲	本 村 修 紹	佐賀市若楠2-7-1 佐賀県自販会館 (☎ 0952-31-1335)
長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	円 田 浩 司	平 新一郎	長崎市中里町1576-7 長崎県自販連会館 (☎ 095-839-2611)
熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	齊 藤 直 信	松 本 伸 二	熊本市東区東町4-14-8 熊本県自動車会館 (☎ 096-365-0638)
大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	橋 本 仁	岩 尾 豊 樹	大分市大津町3-4-13 大分交通会館1F (☎ 097-558-7791)
宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒 夫	中 武 光 博	宮崎市大字本郷北方字鶴戸尾2735-25 宮崎県自販会館 (☎ 0985-51-8255)
鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	中 村 博 之	町 田 昇 二	鹿児島市谷山港2-4-9 鹿児島県自動車会館 (☎ 099-262-0011)
沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	野 原 朝 昌	尾 比 久 隆	浦添市港川512-8 沖縄県自動車会館 (☎ 098-877-5225)

〔Ⅲ〕 事業活動

1. 自動車技術教育支援事業

1) 機材提供活動

令和2年度において第3希望まで含めると全ての教材に応募があり、現場のニーズにマッチしていると推察されることから、令和3年度は改定を行わず、令和2年度同様30メニューとした。

公募は15府県313校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会の3団体に加盟している高校）を対象に実施、全府県から前回（平成30年度）同様102校の申請があった。

これらの申請について、8月2日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、申請のあった102校全てに自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は令和3年度内に各高校へ発送済みであり、令和4年度において各校の教育現場にて活用予定である。

令和3年度 自動車教育用教材メニュー					
1. 自動車の基礎-電気	2. 自動車基礎とエンジンの作動	3. 動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	4. 自動車の電気・電子制御/センサー検知機セット	5. ハイブリッド自動車と充電装置	6. DVD&デジビデオ「自動車メカニズム」
7. 動く車体教材 4サイクル・2サイクル	8. 分解組立 4サイクルガソリンエンジン(EFI)	9. ハイブリッドシステム検知	10. 駆動用ギヤ学習セット	11. 検出で学ぶセンサー検知	12. ガスセンサー検知
13. 回転ホイールアライメントモデル	14. 分解組立用エンジン(汎用・126cc)	15. 分解組立用キャブレターエンジン 660cc	16. 分解組立用電子制御エンジン 複合動力660cc	17. 分解組立用電子制御エンジン 小容量1300cc	18. 実用工具セット
19. 実用工具 両トルクレンチ	20. 油圧ポンプ	21. 低床型手動ジャッキ足踏付 2t	22. エンジンスタンド<簡易型>	23. トレーニングサーキット	24. 燃料電池実験キット
25. 燃料電池システム (エコラン大会用)	26. ビデオスコープ	27. 灯火試験実験装置	28. 実車 (中古車)	29. エンジン実験装置	30. スキャンツール(外部故障診断機)

(1) 令和3年度 自動車技術教育用教材メニュー 及び 提供校数

学習区分	No.	教材名	提供校数
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	1
視聴覚教材	2	自動車の基礎とエンジンの作動	3
視聴覚教材	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	1
視聴覚教材	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	2
視聴覚教材	5	ハイブリッド自動車と充電装置	0
視聴覚教材	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』	0
視聴覚教材	7	動く掛図 4 サイクル・2 サイクル	1
視聴覚教材	8	説明模型 4 サイクルガソリンエンジン	1
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム 模型	2
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	0
視聴覚教材	11	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)	1
視聴覚教材	12-A	サスペンション 模型 A	0
視聴覚教材	12-B	サスペンション 模型 B	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメントモデル	1
初級教材	14-A	分解組立用エンジン 〈汎用 126cc〉 A	19
初級教材	14-B	分解組立用エンジン 〈汎用 126cc〉 B	7
初級教材	15	分解組立用エンジン 〈汎用 126cc〉 C	9
初級教材	16-A-㊦	分解組立用キャブレターエンジン 660cc	1
初級教材	16-A-㊧	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc A㊦	0
初級教材	16-B-㊦	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc A㊦	1
初級教材	16-B-㊧	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc B㊦	1
初級教材	17-A-㊦	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc B㊦	2
初級教材	17-A-㊧	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc A㊦	1
初級教材	17-A-㊨	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc A㊦	0
初級教材	17-A-㊩	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc A㊦	2
初級教材	17-B-㊦	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc B㊦	0
初級教材	17-B-㊧	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc B㊦	0
初級教材	17-B-㊨	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc B㊦	0
初級教材	18	実習用工具セット	14
初級教材	19-A	実習用工具 トルクレンチ A	1
初級教材	19-B	実習用工具 トルクレンチ B	1
初級教材	19-C	実習用工具 トルクレンチ C	1
初級教材	20	急速充電器	6
初級教材	21	低床型手動ジャッキ 足踏み付け 2t	2
初級教材	22	エンジンスタンド 〈簡易型〉	1
中級教材	23	トレーニングサーキット	2
中級教材	24	燃料電池実験キット	0
中級教材	25	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉	5
中級教材	26	ビデオスコープ	0
中級教材	27	灯火回路実習装置	0
上級教材	28-㊦	実車 〈中古車〉 1 ヴィッツ	2
上級教材	28-㊧	実車 〈中古車〉 2 マーチ	0
上級教材	28-㊨	実車 〈中古車〉 3 フィット	1
上級教材	28-㊩	実車 〈中古車〉 4 デミオ	1
上級教材	28-㊪	実車 〈中古車〉 5 コルト	0
上級教材	28-㊫	実車 〈中古車〉 6 プリウス	1
上級教材	29	エンジン実習装置	2
上級教材	30	スキャンツール 〈外部故障診断装置〉	6
視聴覚教材	小計		13
初級教材	小計		69
中級教材	小計		7
上級教材	小計		13
合計			102

(2) 応募及び審査結果

公募地域 (C地区)	青森、岩手、宮城、福島、茨城、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、 大阪、兵庫、奈良、和歌山 合計 15 府県 (対象校は 313 校)	
応募校数	15 府県、102 校	
支援校数	15 府県、102 校	累計支援校数 (平成 3 年からの累計数) : 2, 203 校

(3) 自動車教育用教材活用報告書について

令和 2 年度教材提供を実施した高校を対象に、令和 3 年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。集約内容を技術教育部会で報告し、今後の活動の参考資料とした。

学習区分	No.	教材名	提供校数	活用生徒数
視聴覚教材	1	自動車の基礎・電気	1	40
視聴覚教材	2	自動車の基礎とエンジンの作動	6	387
視聴覚教材	3	動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動	2	243
視聴覚教材	4	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット	1	24
視聴覚教材	5	ハイブリッド自動車と充電装置	2	50
視聴覚教材	6	DVD&デジビデオ『自動車のメカニズム』	0	0
視聴覚教材	7	動く掛図 4 サイクル・2 サイクル	3	153
視聴覚教材	8	説明模型 4 サイクルガソリンエンジン	1	160
視聴覚教材	9	ハイブリッドシステム 模型	1	44
視聴覚教材	10	駆動用ギヤ学習セット	2	171
視聴覚教材	11	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)	6	161
視聴覚教材	12	サスペンション 模型 A	0	0
視聴覚教材	13	四輪ホイールアライメントモデル	0	0
初級教材	14	分解組立用エンジン 〈汎用 126cc〉	26	1, 289
初級教材	15	分解組立用キャブレターエンジン 660cc	1	40
初級教材	16	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車 660cc	3	75
初級教材	17	分解組立用電子制御エンジン 小型車 1300cc	5	215
初級教材	18	実習用工具セット	6	210
初級教材	19	実習用工具 トルクレンチ	7	447
初級教材	20	急速充電器	0	0
初級教材	21	低床型手動ジャッキ 足踏み付け 2t	2	50
初級教材	22	エンジンスタンド 〈簡易型〉	1	9
中級教材	23	トレーニングサーキット	2	117
中級教材	24	燃料電池実験キット	0	0
中級教材	25	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉	0	0
中級教材	26	ビデオスコープ	1	35
中級教材	27	灯火回路実習装置	4	173
上級教材	28	実車 〈中古車〉	1	36
上級教材	29	エンジン実習装置	3	72
上級教材	30	スキャンツール 〈外部故障診断装置〉	4	183

2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

- (1) 汎用エンジンを提供した以下 35 校に対し、教材納入時に同エンジンメーカー専門家が指導教諭へ、教材活用方法や安全管理等に関するアドバイスをを行った。

(訪問説明：28 校、電話説明：7 校)

No.	学校名	訪問説明	電話説明
1	岩手県立黒沢尻工業高等学校	10/20	－
2	岩手県立盛岡工業高等学校	10/19	－
3	宮城県登米総合産業高等学校	－	9/30
4	宮城県迫桜高等学校	10/13	－
5	宮城県白石工業高等学校	10/21	－
6	宮城県石巻工業高等学校	10/20	－
7	宮城県古川工業高等学校	10/13	－
8	宮城県第二工業高等学校（定時制）	10/20	－
9	福島県立ふたば未来学園高等学校	10/15	－
10	静岡県立沼津工業高等学校	10/22	－
11	静岡県立小笠高等学校	10/15	－
12	愛知県立瀬戸工科高等学校	10/8	－
13	愛知県立岡崎工科高等学校	10/8	－
14	愛知産業大学工業高等学校	10/12	－
15	愛知県立一宮起工科高等学校	10/13	－
16	岐阜県 関市立 関商工 高等学校	10/7	－
17	岐阜県立岐阜工業高等学校	10/7	－
18	岐阜県立中津川工業高等学校	－	10/15
19	三重県立伊賀白鳳高等学校	10/20	－
20	奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校	10/15	－
21	和歌山県立和歌山工業高等学校	－	10/20
22	和歌山県立箕島高等学校	10/13	－
23	大阪府立西野田工科高等学校（全日制）	－	10/8
24	大阪府立西野田工科高等学校（定時制）	－	10/8
25	大阪府立淀川工科高等学校	－	10/8
26	大阪府立東住吉総合高等学校	10/19	－
27	大阪府立都島工業高等学校	10/25	－
28	大阪府立岬高等学校	10/14	－
29	大阪府立堺工科高等学校	－	10/14
30	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	10/8	－
31	兵庫県立神崎工業高等学校（定時制）	10/21	－
32	兵庫県立相生産業高等学校（定時制）	10/12	－
33	兵庫県立兵庫工業高等学校	10/20	－
34	兵庫県立東播工業高等学校	10/7	－
35	兵庫県立小野工業高等学校	10/11	－

- (2) 分解組立用電子制御エンジンを提供した以下7校に対し、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影した「分解・組立解説 DVD」を提供した。

No.	都道府県	学校名	提供教材
1	大阪府	大阪府立堺工科高等学校（定時制）	エンジン（ホンダ E07Z）2 台+スタンド 2 台
2	静岡県	静岡県立浜松湖北高等学校	エンジン（ホンダ L13A）4 台
3	岐阜県	岐阜県立大垣工業高等学校	エンジン（ホンダ L13A）4 台
4	岩手県	岩手県立福岡工業高等学校	エンジン（マツダ ZJ-VE）4 台
5	兵庫県	尼崎双星高等学校	エンジン（三菱 3G83 MPI）2 台+スタンド 2 台
6	滋賀県	滋賀県立長浜北星高等学校	エンジン（三菱 3G83 MPI）2 台+スタンド 2 台
7	和歌山県	和歌山県立紀北工業高等学校	エンジン（三菱 3G83 MPI）4 台

- (3) 毎年一番人気の分解組立用汎用エンジンにおいて、エンジンの分解組立指導に不慣れな教諭向けに、汎用エンジンの分解組立解説動画（前編：分解編 後編：組立編）を作成、財団ホームページに公開した。

3) 協賛支援（助成金）活動

公募期間中に1件の申請があり審査委員会にて承認となったが、コロナの影響により活動ができなくなり、助成は中止となった。

4) 交流促進活動

自動車技術教育用教材の提供校を対象に実施している教材贈呈式及び教育懇談会はコロナ禍により青森、岩手、宮城の3県のみ実施した。

開催を断念した12府県の教材提供校に対し、代替活動として自動車技術教育の現状と課題に関するアンケートを実施し、集約結果を対象地域の自動車教育推進協議会（自動車関連団体）と共有した。また、対象地域の自販連各県支部に「インターンシップ等相談窓口一覧」作成交付を依頼し、教材提供校と各地域の教育委員会に提供し高等学校と自動車関係団体との自動車技術教育に関する交流促進と自動車教育の普及促進を図った。

令和3年度 自動車教育用教材提供校一覧表

府県名		学校名	機材名
青森	1	青森県立青森工業高等学校	急速充電器
	2	青森県立八戸工業高等学校	実習用工具セット
	3	八戸工業大学第一高等学校	実習用工具セット
岩手	1	岩手県立盛岡工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	2	岩手県立黒沢尻工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	岩手県立大船渡東高等学校	ハイブリッドシステム 模型
	4	岩手県立宮古商工高等学校	急速充電器
	5	岩手県立福岡工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc
宮城	1	宮城県村田高等学校	視聴覚教材 動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動
	2	宮城県迫桜高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	宮城県登米総合産業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	4	宮城県加美農業高等学校	トレーニングサーキット
	5	宮城県白石工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	6	宮城県石巻工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	7	宮城県古川工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	8	宮城県第二工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	9	仙台市立仙台工業高等学校	実習用工具セット
	10	仙台市立仙台工業高等学校 定時制	実習用工具 トルクレンチ
福島	1	福島県立福島工業高等学校	急速充電器
	2	福島県立郡山北工業高等学校	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉
	3	福島県立清陵情報高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット
	4	福島県立白河実業高等学校	説明模型 4サイクルガソリンエンジン
	5	福島県立会津工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動
	6	福島県立喜多方桐桜高等学校	実習用工具 トルクレンチ
	7	福島県立平工業高等学校	実習用工具セット
	8	福島県立勿来工業高等学校	急速充電器
	9	福島県立ふたば未来学園高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	10	福島県立小高産業技術高等学校	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉
茨城	1	茨城県立玉造工業高等学校	実習用工具セット
	2	茨城県立波崎高等学校	実習用工具セット
	3	茨城県立江戸崎総合高等学校	模型で学ぶ センサー技術 (自動走行)
	4	茨城県立八千代高等学校	実車 〈中古車〉
静岡	1	静岡県立伊豆総合高等学校	四輪ホイールアライメントモデル
	2	静岡県立御殿場高等学校	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉
	3	静岡県立沼津工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	4	静岡県立科学技術高等学校	燃料電池システム 〈エコラン大会用〉
	5	静岡県立小笠高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	6	静岡県立浜松城北工業高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t
	7	静岡県立浜松湖北高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc
	8	飛龍高等学校	トレーニングサーキット
愛知	1	愛知県立瀬戸工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	2	愛知県立一宮起工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	愛知県立豊田工科高等学校	ハイブリッドシステム 模型
	4	愛知県立岡崎工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	5	愛知県立碧南工科高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動
	6	愛知県立刈谷工科高等学校	エンジン実習装置
	7	愛知県立豊川工科高等学校	急速充電器
	8	愛知県立名古屋工科高等学校 定時制	動く掛図 4サイクル・2サイクル
	9	名古屋市立工業高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎・電気
	10	愛知産業大学工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉

府県名		学校名	機材名
岐阜	1	岐阜県立岐南工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	2	岐阜県立岐阜工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	岐阜県立大垣工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 小型車1300cc
	4	岐阜県立多治見工業高等学校	実習用工具セット
	5	岐阜県立中津川工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	6	関市立関商工高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	7	岐阜第一高等学校	実車 〈中古車〉
三重	1	三重県立桑名工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	2	三重県立四日市工業高等学校	実車 〈中古車〉
	3	三重県立四日市工業高等学校 定時制	実習用工具セット
	4	三重県立四日市中央工業高等学校	実習用工具セット
	5	三重県立松阪工業高等学校	自動車の電気・電子技術/モーター基礎実験セット
	6	三重県立伊勢工業高等学校	エンジンスタンド (簡易型)
	7	三重県立伊賀白鳳高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	8	三重県立尾鷲高等学校	視聴覚教材 自動車の基礎とエンジンの作動
滋賀	1	滋賀県立瀬田工業高等学校	分解組立用キャブレターエンジン 660cc
	2	滋賀県立長浜北星高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc
京都	1	京都府立田辺高等学校	燃料電池システム (エコラン大会用)
	2	京都府立工業高等学校	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t
大阪	1	大阪府立松原高等学校	実習用工具 トルクレンチ
	2	大阪府立岬高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	大阪府立西野田工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	4	大阪府立西野田工科高等学校 定時制	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	5	大阪府立淀川工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	6	大阪府立茨木工科高等学校 定時制	実車 〈中古車〉
	7	大阪府立城東工科高等学校	実習用工具セット
	8	大阪府立堺工科高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	9	大阪府立堺工科高等学校 定時制	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc
	10	大阪府立東住吉総合高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	11	大阪府立和泉総合高等学校 定時制	実車 〈中古車〉
	12	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	13	堺市立堺高等学校 定時制	エンジン実習装置
	14	大阪市立都島工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	15	星翔高等学校	実習用工具セット
兵庫	1	兵庫県立兵庫工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	2	兵庫県立尼崎工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	3	兵庫県立武庫荘総合高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
	4	兵庫県立神崎工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	5	兵庫県立東播工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	6	兵庫県立小野工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	7	兵庫県立姫路工業高等学校	実習用工具セット
	8	兵庫県立飾磨工業高等学校	急速充電器
	9	兵庫県立相生産業高等学校 定時制	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	10	兵庫県立洲本実業高等学校	実習用工具セット
	11	神戸市立科学技術高等学校	実習用工具セット
	12	尼崎市立尼崎双星高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc
	13	神戸村野工業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
奈良	1	奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	2	奈良県立御所実業高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)
和歌山	1	和歌山県立紀北工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 軽自動車660cc
	2	和歌山県立和歌山工業高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉
	3	和歌山県立箕島高等学校	分解組立用エンジン 〈汎用126cc〉

＜府県別内訳＞

青森 3校 岩手 5校 宮城 10校 福島 10校 茨城 4校 静岡 8校 愛知 10校
 岐阜 7校 三重 8校 滋賀 2校 京都 2校 大阪 15校 兵庫 13校 奈良 2校 和歌山 3校 合計: 15府県 102校

2.調査研究事業

1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内外の交通調査等を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

(1) 国内調査の実施

国内の交通事情調査を3回実施した。

第1回は、拡大が続く小口宅配需要や新型コロナウイルスの影響による非接触志向の高まりを背景に実用化に向けた動きが加速している配送用自律走行ロボットについて、7月に東京都のZMP株式会社にて取材を行った。物流業界の「ラストワンマイル問題」の有力なソリューションとして期待されているが、実用化に向けては公道走行を可能とするなどの法整備、物を運ぶ移動体としての技術的課題（降雪地など地図データと異なる状況での自律走行、踏破性）、及び高額なロボット本体・システムのコストなど、超えるべきハードルがある。

新たな社会インフラ構築にも繋がるため、早期実用化を実現するには、関係当局による支援を含む、「官」「民」の更なる協働が求められる。

第2回は、低コスト且つ利便性が高い新たなモビリティとして注目されている電動キックボードに関し、福島県で実証実験を行うSWALLOW 合同会社に対し9月に取材を行った。電動キックボードは欧米では日本に先行して普及しているが、その背景・前提に大きな差異がある。自転車シェアリングからの移行が急速に進行した欧米とは異なり、日本では自転車シェアリングに対する優位性が見込まれない。狭い歩道が多く、シェアリング用に別のスペース確保が必要など、最大の特長であるコンパクトさが活かしきれず、利用料金も割高である。加えて、欧米では整備の進んだ自転車レーンを走行することで安全性が確保されているが、日本では自転車レーンの整備が不十分な上、整備されていたとしても自転車レーンを走行することができない状況（調査時点）。

現時点での公道での利用については電動キックボード本来のメリットを十分に活かす状況にはない。地域内観光など使用目的や使用場面が特定される状況での活用が、新たなモビリティとしての今後の可能性を広げるといえる。

第3回は、自治体におけるMaaS導入に向けた取り組みについて、3月に群馬県前橋市にて調査を行った。同市による実証実験「MaeMaaS」に取り組む理由は、SDGs・カーボンニュートラル対応の他、市内で運営する6つのバス事業者に対する補助金額増加の抑制。当実証実験では独自アプリが設定されているが、交通機関利用代金の決済は事業者ごとに行わなければならない、一日フリーパスではなく単発利用での決済は対象から除外されていることをはじめ、MaaSの先行事例として2019年に調査したフィンランド ヘルシンキで体験した利便性には遠く及ばないものであった。

自治体によるMaaS導入は、対象交通機関利用の際のデータ読み取り機材のコスト、規制による運賃設定の制約、利用した交通サービス料金を一括決済した場合の関係事業者の配分ルール設定等、社会実装に向けては多岐にわたる課題がある。このような現実を踏まえてみても、移動時は既存のネット経路検索、および交通系ICカードによる決済が当面のスタンダード対応であり続けるとみられる。

【国内調査の概要】

	第 1 回目	第 2 回目	第 3 回目
日程	7 月 2 日（金）	9 月 30 日（金）	3 月 23 日（水）
目的	ロボットによる近距離配送サービスは、配送従事者の人手不足と共に、コロナ禍で更にニーズが高まっている。同サービス実現に向けた課題と対応を調べる。	電動キックボードの活用に向け、各地で実証実験が行われている。新たなパーソナルモビリティ実現加速の動きや課題を調査。	移動の利便性を高めることで域内の諸課題解決を目指す日本の MaaS 実現に向けた取り組みと課題について調べる。
調査先	東京都	福島県	群馬県
調査の様子	 ▲小型配送ロボット (高さ・長さ：1m、幅：60cm)	 ▲実証実験中につき、ヘルメット非装着での走行が可能	 ▲実証実験“MaaS”の対象となるオンデマンドバス

(2) コロナ下での海外の新たな動きについて情報収集

令和 3 年度も前年度に続き海外調査を中止としたが、コロナ下でのクルマに関する特徴的な動向として、米国で進むクルマのネット販売に着目。12 月に旅行業者を介し、自動車メーカー現地法人（北米日産会社）担当者から関連情報・データを収集した。

米国は国土が広く、近所に自動車販売店がないケースもあり、以前からインターネットでの情報収集や購入費用の見積をとるといった行動が一般的で、クルマのネット販売が進みやすい環境にあり、コロナ禍でそれが加速。北米日産によれば、全体の約 2 割程度がインターネット中心の購入行動をとっている。インターネットによる購入者の大半は、20 代後半から 40 代前半の「ミレニアル世代」。インターネットでの購入比率が高いクルマのタイプは「電気自動車」で、約 6 割に達している。電気自動車の購入層はデジタルリテラシーが高いとされるが、その証左と言える。

【海外 最新動向の情報収集 概要】

日 程	12 月	
目 的	コロナ禍により、長い間ほぼ同じであったクルマの買い方にも急速な変化が進む実態を把握する。	
調査先	アメリカ合衆国	
調査の様子	  ▲ 情報収集先の北米日産会社（写真左）とネット購入者が 6 割に達する電気自動車（同 右）	

(3) 高校生のクルマに関する意識調査の実施

財団では、高校生の今の関心事項や価値観、クルマに対する意識を把握すべく、2013年に初めて Web でのアンケート調査を実施した。その後の動向を把握するため、2年に一度同調査を行っている。2021年10月に5回目のアンケート調査を実施し、財団の各部会・委員会にて報告した。調査対象は、首都圏、京阪神圏、九州圏の高校生 300名（各地域 100名）である。

調査結果では、クルマへの関心度は他の娯楽・趣味的行動と比較し、相対的に低いものの下落傾向には歯止めがかかった（前回調査から 1.4 ポイント上昇）。普通免許の取得やクルマの所有に対する意向については、全体では 8 割を超える高いレベルを継続したが、両項目ともに男性が低下、女性が上昇する対照的な結果が見られた。また、クルマに関する意識では、関連設問のすべてにおいて好意的回答が増加に転じた。当調査からの追加設問である電気自動車の購入意向は 53% と高い結果を示した。

新型コロナウイルス感染拡大、カーボンニュートラル社会実現に関する情勢が、当調査結果にも影響を及ぼしていると思われる。

2) 教材作成活動

(1) 動画の作成

国内調査や海外の最新動向に関する情報収集結果については、財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、動画化した上で財団の動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載した。



▲ 調査報告動画『電動キックボード』は日本で普及するか？ 【後編】日本での普及可能性と課題』より

(2) 副教材の作成・提供

- ⑥ “「公共」副教材 2022” を制作、ウェブサイトで公開（令和 4 年 1 月）

令和 3 年 1 月に公開した “「公共」副教材 2021” を、先生方に実施したインタビューやアンケートの結果を踏まえ、一部改訂した（情報・データ更新 他）。先生向けのガイドと授業用ワークシートを別ファイルとし、授業及びその準備での使い易さの向上も図った。

当副教材は環境、交通インフラなど、現代社会において重要な 6 つの課題・テーマで、高校生にとって身近に感じられる事例を交えて構成。主権者として自らどう考え、行動するかについて議論する材料としての活用を促している。



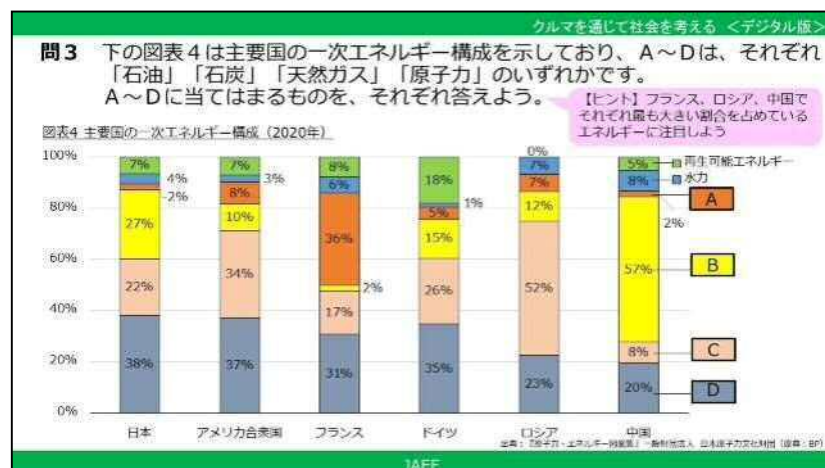
▲ “「公共」副教材2022” ウェブサイト

	テーマ（タイトル）
1	『地球温暖化について考えよう』
2	『どこにいても いつまでも』
3	『道路整備の費用負担について考えよう』
4	『自動運転がもたらす人と社会への影響』
5	『真の循環型社会へ』
6	『安全なモビリティ社会の実現について考えよう』

▲ “「公共」副教材2022” 取扱いテーマ

⑥ 副教材『クルマを通じて社会を考える＜デジタル版＞』の制作開始

過去に冊子として発行した副教材『クルマを通じて社会を考える』の掲載情報やデータを更新した、“デジタル版”の制作を開始。授業形態の多様化や生徒の自主学習にも対応できる仕様としている。当年度は同教材を構成する全6章の内、「Ⅰ 地球温暖化」「Ⅱ 資源・エネルギー問題」を制作した（両章のウェブ公開は令和4年4月1日、残る4章は令和4年度内に制作・公開予定）。



▲ 『クルマを通じて社会を考える＜デジタル版＞』

「Ⅱ 資源・エネルギー問題」より

3.研修事業

1) 財団研修活動

文部科学省や各教育委員会の後援及び各高等学校教育関係団体からの協賛を得て、「効果的な交通安全教育手法」を研修テーマに、JAEF 研修会（高等学校の教員を対象に財団が主催する研修会）を開催した。

栃木での研修会には高等学校の教員 33 名が参加し、全ての参加者から高い評価をいただいた（参加者アンケートの 5 段階評価のうち「大変良い」（97.0%）、「良い」（3.0%）の上位合計で 100.0%）。

一方、愛知で予定していた研修会は、コロナ禍の影響で集合開催は中止となったが、講演及び体験実習動画を作成し、財団ホームページに掲載した。視聴回数は 114 件（令和 4 年 3 月末現在）と、通常の集合研修では募集上限が約 40 名のところ、大幅に上回る先生方へ広く受講機会を提供できた。

【令和 3 年度 J A E F 研修会開催実績】

実施日	会場	講演テーマ、講師及び見学施設	参加人数
8 月 10 日	ツインリンク もてぎ (栃木県)	【講演】 「効果的な交通安全教育手法」 講師：アクティブセーフティトレーニングパーク インストラクター チーフ 島倉 勝 氏 【体験】 安全運転実習	33 名
9 月 21 日	動画公開	【講演動画】 「燃料電池自動車（FCV）『トヨタ MIRAI』の開発」 講師：トヨタ自動車株式会社 Mid-size Vehicle Company チーフエンジニア 田中 義和 氏 【体験実習動画】 エンジニアリング教室 燃料電池の構造、発電の仕組みについて	動画視聴 114 件

2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を行った。講師派遣メニューでは、自動車技術教育と交通社会教育からなる 16 メニューを用意した。コロナ禍の影響が続く中、令和 3 年度より「交通安全」にて本格的に展開したオンライン形式の研修会を 56 件開催した。通常の集合研修との併用、利用促進が奏功し、講師派遣活動全体でキャンセルが 85 件（前年差▲107 件）と大幅に抑制できた。その結果、開催回数は 282 件（同+69 件）、参加者は 88,381 名（+26,715 名）となった。

282 件の内訳は、区分別に「自動車技術」24 回、「環境・交通技術」7 回、「交通安全」251 回であった。

講師は研修テーマに合わせて関係団体・企業の専門家を派遣しているが、本年度は 282 回中 275 回について日本自動車連盟各支部、日本損害保険協会各支部、各地域の自動車整備振興会や自動車販売会社といった地元講師にご協力いただいた（詳細は【資料 1-2】を参照）。

【令和3年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー		派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数 (うちオンライン)	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術 〔講演型〕	①	トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	5	300
		②	日産・電気自動車について	日産系ディーラー	10	433
		③	ホンダ・e:HEV について	ホンダ系ディーラー	1	39
		④	マツダ・SKYACTIV エンジンと最新技術について	マツダ	3	95
		⑤	三菱・プラグインハイブリット車について	三菱自動車工業	4	193
	自動車の整備技術 〔体験型〕	⑥	ガソリンエンジンの分解・組立	整備振興会	1	6
		⑦	トランスミッションの分解・組立	整備振興会	0	0
		⑧	電子制御エンジンの構造と点検・整備	整備振興会	0	0
自動車技術教育 計					24	1,066
交通社会教育	環境技術	⑨	地球温暖化防止と自動車技術	自動車関係団体他	5 (3)	218
	交通技術	⑩	交通技術と社会のあり方 (自動運転技術の現状と方向性)	自動車関係団体他	1	59
		⑪	交通技術と社会のあり方 (自動運転と紛争解決)	自動車関係団体他	1	12
	交通安全	⑫	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	171 (41)	57,421
		⑬	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	28 (1)	6,737
		⑭	交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	7 (1)	902
		⑮	自転車を取り巻くリスクと問われる責任	日本損害保険協会	44 (13)	21,957
		⑯	二輪車(バイク)の交通安全 ～高校生のための Safety Riding～	日本二輪車 普及安全協会	1	9
交通社会教育 計					258 (59)	87,315
全体 合計					282	88,381

3) P I U S (分解組立式小型電気自動車) 特別講習

令和3年度事業計画での重点取組事項のひとつ「体験型授業の充実」の施策として、分解型小型電気自動車P I U S (ピウス) を用いた特別講習を開催した。本講習は財団職員が講師を担当し、教材であるP I U S と共に応募があった全国の工業高校を対象に訪問。

本年度は7月から開始し、12月までの間に当初予定していた計6回の開催を完了した。電気自動車の分解・組立から試乗の実習に加え、5Sや電気自動車についての座学をパッケージとした新たな講習に対し、これまで多くの受講者から好評を得られた。

<開催校担当教諭の主な評価・感想>

- ・ 分解組立の作業実習を目的に製作されたキットカーだけに、実車に近い作業を体験出来た。初心者には難しい用語や作業内容もあるが、完成・試乗した時の生徒の表情は、達成感に満ちていた。
- ・ 基本的構造の理解だけでなく工具や部品の置き場所の明確化や作業手順と作業進捗状況の見える化など、工数削減改善活動の原点は5Sの徹底であり、同時に作業リスクを低減させることができると改めて実感できた。

<特別講習カリキュラム 例>

- 9:00～ 9:10 開講式、連絡事項
- 9:10～ 9:50 座学①「5S」、「工具の使い方」等
- 9:50～10:00 休憩
- 10:00～12:00 分解実習(適宜休憩)
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～13:30 座学②「電気自動車について」
- 13:30～15:30 組立実習(適宜休憩)
- 15:30～15:50 試乗
- 15:50～16:10 振り返り、閉会式

【令和3年度P I U S 特別講習開催実績】

№	地区	主催	開催日	受講者	人数
1	栃木	作新学院高等学校	7月28日	自動車整備士養成科 3年生	14
2	大阪	市立 堺高等学校	8月18日	機械材料創造科 1～3年生	14
3	三重	三重県工業教育研究会	8月25日	三重県内工業科職員	8
4	宮崎	都城東高等学校	9月14日	自動車工業科 3年生	41
5	静岡	飛龍高等学校	11月5日	自動車工業科 2年生	25
6	東京	都立 練馬工業高等学校	12月7日	キャリア技術科 3年生	17
受講者計					119

4. 普及啓発事業

1) 普及啓発活動

(1) 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』でのコンテンツ掲載

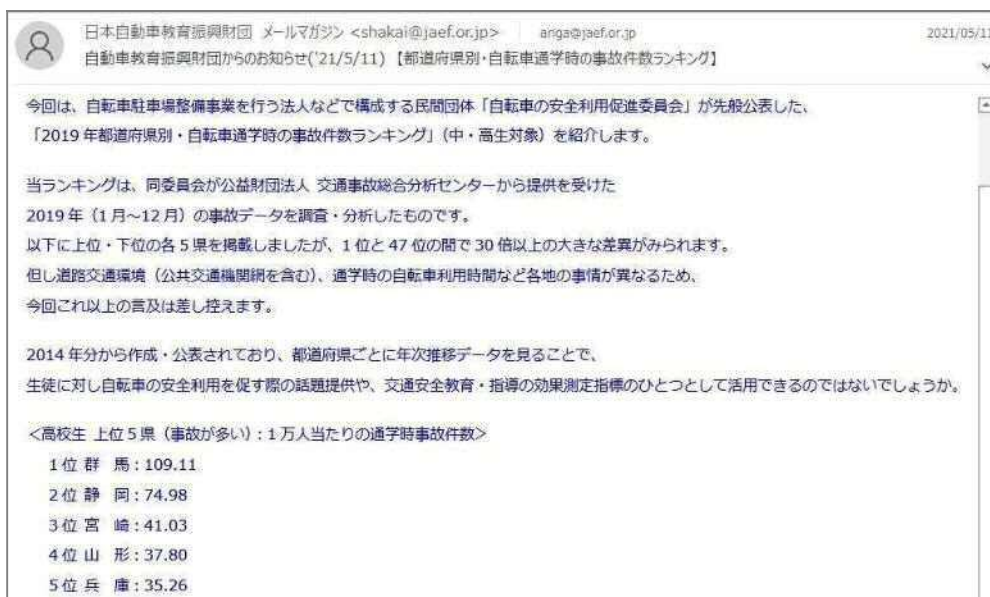
クルマに関する基礎知識や国内外の最新交通事情などをテーマとする動画を財団ウェブサイトに公開。当年度は財団で実施した国内調査結果の他、環境・エネルギー、自動運転技術などのテーマで計 26 本のコンテンツを制作し、公開した。

【令和 3 年度『早わかり！クルマ塾』コンテンツ掲載実績】

	タイトル	公開日
「クルマのまなび舎」	<1> 「『地球温暖化問題』～その本質は何？～」	R3. 7. 13
	<2> 『世界の二酸化炭素排出の現状 ～日本は世界の二酸化炭素排出量削減にどう貢献できるか～』	R3. 8. 14
	<3> 『カーボンニュートラル社会と日本のエネルギー問題 ＜前編＞カーボンニュートラルってどんな社会？』	R3. 12. 7
	<4> 『カーボンニュートラル社会と日本のエネルギー問題 ＜中編＞再生可能エネルギーの可能性と課題』	R3. 12. 14
	<5> 『カーボンニュートラル社会と日本のエネルギー問題 ＜後編＞自動車のエネルギーと電動化』	R3. 12. 17
	<6> 『カーボンニュートラルと国民の負担 ～エネルギー価格の上昇は一時的なものか～』	R4. 3. 9
「クルマ何でも情報館」	<7> 『自律走行バスは域内交通の切り札となるか ～茨城県境町で自治体初の運行開始～【前編】』	R3. 4. 30
	<8> 『自律走行バスは域内交通の切り札となるか ～茨城県境町で自治体初の運行開始～【後編】』	R3. 4. 30
	<9> 「『水素エンジン車』・脱炭素」への新たな可能性」	R3. 7. 9
	<10> 『ロボット配送で「ラストワンマイル問題」解消へ 【前編】「ラストワンマイル問題」とは』	R3. 8. 26
	<11> 『ロボット配送で「ラストワンマイル問題」解消へ 【後編】配送ロボットの特徴と課題』	R3. 9. 2
	<12> 『四輪車の自動化レベル3技術とは何か？（聴く編 第1回）』	R3. 11. 24
	<13> 『四輪車の自動化レベル3技術とは何か？（聴く編 第2回）』	R3. 11. 29
	<14> 『四輪車の自動化レベル3技術とは何か？（聴く編 第3回）』	R3. 12. 3
	<15> 『自動運転技術を使いこなすためには？（乗る編 第1回）』	R4. 1. 14
	<16> 『自動運転技術を使いこなすためには？（乗る編 第2回）』	R4. 1. 19
	<17> 『自動運転技術を使いこなすためには？（乗る編 第3回）』	R4. 1. 25
	<18> 「『電動キックボード』は日本で普及するか？ 【前編】欧米で広がりを見せる電動キックボード」	R4. 1. 28
	<19> 「『電動キックボード』は日本で普及するか？ 【後編】日本での普及可能性と課題」	R4. 1. 31
	<20> 『コロナ禍で加速 クルマもネットで買う時代に』	R4. 2. 15
	<21> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？（聴く編 第1回）」	R4. 3. 15
	<22> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？（聴く編 第2回）」	R4. 3. 15
	<23> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？ 乗車前説明」	R4. 3. 22
	<24> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？（乗る編 第1回）」	R4. 3. 22
	<25> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？（乗る編 第2回）」	R4. 3. 29
	<26> 「二輪車の先進安全技術『ARAS』とは？（乗る編 第3回）」	R4. 3. 29

(2) メールマガジンによる情報提供

高校教諭等への情報提供活動として、メールマガジンを配信。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、当年度は合計 53 回発信した。3 月末までの登録者数は約 400 名。



▲ メールマガジン画面

2) 広域普及啓発活動

(1) 教育関連マスメディアとのコミュニケーション強化

財団活動について先生等教育従事者に訴求すべく、教育関連マスメディアへの情報発信、及び取材・記事化促進を図った。これにより、工業高校向けフリー誌「チョイス!」、 「教育新聞」にて記事掲載された。



▲ 「チョイス!」での 小型 EV 特別講習 掲載記事

(2) SNS による情報発信

① ツイッターによる情報発信開始

財団活動の認知・浸透を図るべく、ツイッターによる情報発信を令和3年4月より開始。当財団イベントの情報等を関連画像と共に、3月末までに計45回投稿。



▲ ツイッター 投稿画面

② フェイスブックによる情報発信

当年度は計34回の投稿を行った。

(3) 「ニュースリリース」の発行

報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』を発行（年間9回）した。

【『JAEF NEWS』発行状況】

番 号	発 行 日	タイトルと内容
No. 756	R3. 6. 14	令和3年度定時評議員会を開催
No. 757	R3. 7. 20	「令和3年度 第1回 J A E F 研修会」を開催
No. 758	R3. 7. 30	「令和3年度 第2回 J A E F 研修会」を開催
No. 759	R3. 8. 3	令和3年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 760	R3. 10. 12	岩手県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 761	R3. 10. 18	青森県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 762	R3. 10. 21	福島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 763	R3. 10. 28	宮城県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 764	R4. 3. 17	第26回理事会を開催

(4) 広報媒体（ホームページ、JAEF 支援メニュー）の充実・活用

ホームページやパンフレットにより財団活動の周知活動を行った。ホームページコンテンツをタイムリーに更新した他、閲覧者にとって分かりやすい表示を採用した。



▲ ホームページ トップ画面

また、先生向けの財団による支援メニューを具体的かつ手軽に告知できるようにした。『JAEF 支援メニュー【令和3年度版】』チラシも改訂・活用し、先生方への財団活動告知に努めた。



（５）『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』（A4判・4頁・カラー）を定期的（４・７・１０・１月の年４回）に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

【『JAEF REPORT』発行状況】

番 号	発行日	タイトル・内容
No.249	R3. 4. 5	◆ 第23回理事会を開催、令和3年度事業計画・予算を承認 ◆ 令和2年度講師派遣実績 ◆ 令和2年度自動車教育用教材活用結果 ◆ 令和3年度自動車教育用教材の公募予定 ◆ “「公共」副教材2021”が完成、ウェブで公開 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に6本のコンテンツ掲載
No.250	R3. 7. 5	◆ 理事会、評議員会を実施 ◆ 令和3年度自動車技術教育用教材提供へ102校から応募 ◆ 分解組立式小型電気自動車“PIUS”を用いた特別講習の公募開始 ◆ 令和3年度JAEF研修会の参加者を募集 ◆ 39都道府県の研修会（172件）に講師を派遣
No.251	R3. 10. 5	◆ 令和3年度 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定 ◆ 分解組立式小型 EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 令和3年度 JAEF研修会を開催 ◆ 25都道府県（47件）の研修会に講師を派遣 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に5本のコンテンツ掲載
No.252	R4. 1. 5	◆ 新年のご挨拶 ◆ 令和3年度 教材贈呈式、交流促進活動を実施 ◆ 分解組立式小型 EV“PIUS”を用いた特別講習を実施 ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に6本のコンテンツ掲載 ◆ 各部会・委員会にて令和3年度上期活動状況を報告 ◆ 26都道府県（54件）の研修会に講師を派遣 ◆ 令和4年度 講師派遣募集開始



【Ⅳ】支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

8 件の依頼があったが、コロナ禍により 3 件のイベントが中止となり、5 件の支援にとどまった。

区分	イベント名称	開催日	開催地	主催者	協賛支援内容	
					財団	協議会
全国イベント	第 28 回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	R3. 8. 6	石川	全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会	協賛金	協賛金
	第 21 回高校生ものづくりコンテスト全国大会	R3. 11. 14	神奈川	全国工業高等学校長協会	表彰状・盾	－
	2021 エコデンレース全国大会	R3. 12. 19	大阪	全国自動車教育研究会	協賛金	－
	(中止) ジャパンマイコンカーラリー2022 全国大会	R4. 1. 9	広島	全国工業高等学校長協会	協賛金	－
県別イベント	令和 3 年度三重県工業高校生フェア	R3. 8. 18	三重	三重県高等学校工業教育研究会	協賛金	協賛金
	(中止) 第 29 回静岡県高校生エコラン大会	R3. 9. 25	静岡	静岡県工業高等学校長会	協賛金	協賛金
	(中止) 第 23 回沖縄県高等学校エコデンレース大会	R3. 10. 19	沖縄	沖縄工業教育研究会	協賛金	協賛金
	2021 長野県高校生交通安全 CM コンテスト	R3. 11. 30	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金	協賛金

2. 研究会及び研究大会への支援

前年度に続き、高校教諭を会員とする研究会活動を対象に、1 件の支援を実施した。

支援対象	支援先	協賛支援内容	
		財団	協議会
「全総会報」への広告掲載	全国総合学科高等学校長協会	協賛広告	

〔V〕組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動

所属団体での異動による一部評議員の退任及び理事・監事の任期満了に伴い、第10回定時評議員会（決議の省略による書面での評議員会、令和3年6月11日）において、評議員の一部選任並びに理事・監事の選任が行われた。その結果、評議員においては、退任した4名の評議員の後任として、新たに4名の評議員が一部選任された。また、理事・監事については、新たに11名の理事と2名の監事が選任された。

これらの評議員会の決定を受けて、第25回理事会（決議の省略による書面での理事会、令和3年6月11日）では、代表理事並びに業務執行理事等の選定が行われ、内山田竹志氏が理事長を務めることとなった。

なお、第10回定時評議員会終了後に、所属団体での異動による理事の退任が発生したため、決議の省略による書面での理事会並びに評議員会を9月（1名）及び3月（1名）に開催し、後任の理事の一部選任が行われた。

2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

3. 経理・財務の状況

主な収入は関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益である。令和3年度は、保有債券の満期に伴う代替商品の利金が増加し、当初計画に対し約12万円の増収となった。支出面においては、教育現場の支援強化に繋がる新たな各種取組を実施した一方、コロナ禍による影響で一部中止・規模縮小した活動もあり、当初計画を約137万円下回ることになった。

令和2年度に生じた公益目的事業会計1,093万円の剰余金解消については、上述の教育現場の支援の取り組み拡大等により、従来計画の令和6年度から同4年度に前倒しで完了する見通しである。

〔Ⅵ〕 庶務事項

1. 事務局体制

- ・令和4年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	鈴木 健太	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部 長	市野 真也	研修事業 総務	研修部会 (理事会・評議員会)
技術顧問	清水 譲二	技術教育支援事業特命業務	
職 員	下野 尚美	(経理、総務、研修)	(研修部会)
職 員	佐藤江里花	(調査、普及啓発、システム)	(調査普及部会)
職 員	山内しのぶ	(技術教育、研修、総務)	(企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会)

※ () 内は副担当としてのアシスト業務を示す

2. 賛助会費・寄附金の状況

- ・令和3年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

＜賛助団体名＞	＜金 額＞
・(一社) 日本自動車工業会	31,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	43,000 千円

＜寄附団体名＞	＜金 額＞
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1-1】令和3年度 講師派遣実績（自動車技術教育）

No.	都道府県	主催	開催日	テーマ	講師会社	担当 (敬称略)	受講人数
1	神奈川	県立向の岡工業高等学校	6/7	㊦ 日産・電気自動車について	神奈川日産（株）	木ノ下 晃一	41
2	宮城	加美農業高等学校	6/11	㊦ 日産・電気自動車について	（株）日産サティオ宮城	安部 典昭	70
3	奈良	県立奈良朱雀高等学校	6/14	㊦ 日産・電気自動車について	（株）日産サティオ奈良	松井 健治	65
4	福岡	県立八幡工業高等学校	7/9	㊦ 日産・電気自動車について	日産プリンス福岡販売（株）	坂口 浩史	33
5	愛知	県立一宮起工科高等学校	7/15	㊦ 日産・電気自動車について	愛知日産（株）	川合 誠	40
6	宮城	農業高等学校	8/3	㊦ 日産・電気自動車について	（株）日産サティオ宮城	安部 典昭	41
7	宮城	農業高等学校	8/10	㊦ トヨタ・ハイブリッド車について	宮城トヨタ自動車（株）	小野寺 潤	80
8	富山	県立魚津工業高等学校	8/19	㊦ ガソリンエンジンの分解・組立	（一社）富山県自動車整備振興会	才記 崇	41
9	新潟	県立新潟県央工業高等学校	10/14	㊦ トヨタ・ハイブリッド車について	新潟トヨペット（株）	齋藤 和也	30
10	愛知	県立豊田工科高等学校	10/26	㊦ トヨタ・ハイブリッド車について	名古屋トヨペット（株）	林 弘友希	24
11	愛知	県立豊田工科高等学校	10/27	㊦ トヨタ・ハイブリッド車について	名古屋トヨペット（株）	林 弘友希	40
12	広島	市立広島工業高等学校	10/29	㊦ ホンダ・e：HEVについて	（株）ホンダ四輪販売西中国	小滝 克己	40
13	愛知	県立一宮起工科高等学校	11/4	㊦ マツダ・SKYACTIVエンジンについて	東海マツダ販売（株）	坂本 佳正	39
14	群馬	県立桐生工業高等学校	11/5	㊦ 三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	群馬三菱自動車販売（株）	本木 博之	41
15	埼玉	県立春日部工業高等学校	11/10 AM	㊦ 三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	東日本三菱自動車販売（株）	星野 勇人	40
16	埼玉	県立春日部工業高等学校	11/10 PM	㊦ 三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	東日本三菱自動車販売（株）	星野 勇人	150
17	茨城	県立江戸崎総合高等学校	11/11	㊦ マツダ・SKYACTIVエンジンについて	（株）北関東マツダ	松原 博之	33
18	富山	県立高岡工芸高等学校	11/12	㊦ マツダ・SKYACTIVエンジンについて	（株）北陸マツダ	峯崎 秀樹	34
19	愛知	県立豊田工科高等学校	12/6 AM	㊦ 日産・電気自動車について	三河日産自動車（株）	福嶋 遥助	30
20	愛知	県立豊田工科高等学校	12/6 PM	㊦ 日産・電気自動車について	三河日産自動車（株）	福嶋 遥助	24
21	山口	山口県立柳井商工高等学校	12/10	㊦ トヨタ・ハイブリッド車について	トヨタカローラ山口（株）	豊野 宏幸	6
22	茨城	県立江戸崎総合高等学校	1/12	㊦ 日産・電気自動車について	（株）茨日ホールディング	富田 猛	39
23	東京	東京都立六郷工科高等学校	1/13	㊦ 日産・電気自動車について	日産東京販売（株）	安井 義之	39
24	宮城	加美農業高等学校	1/20	㊦ 三菱自動車・プラグインハイブリッド車について	宮城三菱自動車販売（株）	石川 栄好	46
合計							1,066

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数	
1	富山	富山高専専門学校 本郷キャンパス	4/5	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山支部	林 宏二	233
2	長野	長野県松本工業高等学校	4/6	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	上原 敬	201
3	東京	都立武蔵高等学校	4/9	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京支部	由水 雅也	320
4	鹿児島	鹿児島修学館中学・高等学校	4/9	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	九州支部	佐久間 進	335
5	山梨	県立笛吹高等学校	4/12	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	道家 謙太郎	820
6	兵庫	県立八鹿高等学校	4/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部	岡田 裕己	190
7	北海道	北海道剣淵高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川支部	後藤 博行	70
8	青森	県立三戸高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森支部	渋谷 輝明	132
9	宮城	宮城県多賀城高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部	富澤 亮人	280
10	山形	県立谷地高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形支部	柏倉 保	202
11	福島	県立福島明成高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部	渡辺 周二	190
12	埼玉	東京成徳大学深谷中学・高等学校	4/13	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	河野 和亘	279
13	千葉	県立横橋高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉支部	谷 宗一郎	240
14	神奈川	県立上溝南高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	神奈川支部	岡田 恭司	358
15	兵庫	県立尼崎西高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部	岡田 裕己	200
16	福岡	県立明善高等学校	4/13	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	九州支部	佐久間 進	560
17	鹿児島	県立山川高等学校	4/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島支部	原山 大器	118
18	青森	県立野辺地高等学校	4/14	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	青森支部	渋谷 輝明	158
19	山形	羽黒高等学校	4/14	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	山形支部	柏倉 保	799
20	東京	都立足立新田高等学校	4/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京支部	内海 大輔	250
21	大阪	英真学園高等学校	4/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部	廣瀬 隆一	265
22	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	4/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部	岡田 裕己	292
23	青森	県立木造高等学校深浦校舎	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森支部	渋谷 輝明	39
24	秋田	県立秋田工業高等学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	623
25	福島	県立郡山高等学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部	渡辺 周二	236
26	群馬	県立前橋西高等学校	4/15	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	道家 謙太郎	500
27	新潟	県立高田南城高等学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	新潟支部	藤岡 修	120
28	長野	長野県小諸高等学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部	金子 公一	514
29	長野	長野県上田染谷丘高等学校	4/15	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	道家 謙太郎	850
30	静岡	県立富士東高等学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡支部	武田 文宏	420
31	兵庫	県立阪神昆陽高等部 1・2 部	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部	岡田 裕己	240
32	兵庫	県立阪神昆陽高等部 3 部	4/15	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	兵庫支部	岡田 裕己	25
33	鹿児島	県立鹿児島高等特別支援学校	4/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島支部	白濱 純洋	123
34	福井	県立美方高等学校	4/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井支部	伊藤 鉄平	126
35	山梨	県立甲府昭和高等学校	4/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山梨支部	丹澤 英之	234
36	静岡	県立島田工業高等学校	4/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡支部	永谷 和俊	375
37	大阪	府立北千里高等学校	4/16	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	近畿支部	隅田 清	370
38	大阪	府立茨木工科高等学校 定時制	4/16	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	大阪支部	小山 真	50
39	岐阜	県立各務原高等学校	4/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜支部	大嶽 悟	500
40	北海道	北海道弟子屈高等学校	4/20	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	釧路支部	熊坂 利治	75
41	岩手	県立久慈工業高等学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手支部	青木 順哉	90
42	福島	県立石川高等学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部	渡辺 周二	57
43	群馬	県立赤城特別支援学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部	野間口 拓実	7
44	愛知	県立豊川特別支援学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	石川 貴規	155
45	大阪	箕面学園高等学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部	廣瀬 隆一	558
46	宮崎	県立福島高等学校	4/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮崎支部	川野 修	229
47	岩手	県立盛岡峰南高等支援学校	4/21	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	東北支部	川崎 幸一	133
48	秋田	県立大曲支援学校	4/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	53

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数	
49	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	4/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	471
50	東京	都立南葛飾高校	4/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京支部	内藤 康介	235
51	滋賀	県立大津清陵高等学校（昼間部）	4/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	滋賀支部	生田 真	150
52	福島	桜の聖母学院中学校高等学校	4/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部	渡辺 周二	100
53	群馬	太田市立太田高等学校	4/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部	野間口 拓実	808
54	群馬	県立伊勢崎清明高等学校	4/22	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	小澤 純	710
55	長野	長野県篠ノ井高校	4/22	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	上原 敬	720
56	長野	東海大学附属諏訪高等学校	4/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部	金子 公一	369
57	岐阜	県立多治見高等学校	4/22	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部	横井 信之	583
58	岐阜	県立岐山高等学校	4/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜支部	大嶽 悟	1,010
59	秋田	県立大曲農業高等学校太田分校	4/23	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	52
60	栃木	県立真岡高等学校	4/23	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木支部	田中 鋭夫	423
61	神奈川	向上高等学校	4/23	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	竹島 亜機雄	553
62	徳島	県立徳島北高等学校	4/23	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	四国支部	齋藤 利幸	877
63	北海道	北海道釧路明輝高等学校	4/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	釧路支部	松谷 件人	200
64	秋田	県立栗田支援学校	4/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	74
65	福島	郡山女子大学附属高等学校	4/26	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	九州支部	佐久間 進	160
66	愛知	県立岩津高等学校	4/26	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部	中村 秀美	580
67	愛知	県立豊橋商業高等学校	4/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	石川 貴規	285
68	秋田	県立栗田支援学校	4/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	33
69	茨城	県立波崎柳川高等学校	4/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城支部	高橋 啓剛	290
70	東京	都立新宿山吹高等学校	4/27	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	竹島 亜機雄	200
71	北海道	北海道迫分高等学校	4/28	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	北海道支部	古川 浩	88
72	北海道	北海道札幌東豊高等学校	4/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部	日下部 英明	430
73	宮城	県立支援学校小牛田高等学園	4/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部	富澤 亮人	102
74	秋田	県立秋田明徳館高等学校（定時制）	4/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	349
75	群馬	県立大泉高等学校	4/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部	野間口 拓実	471
76	新潟	県立堀之内高等学校	4/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	新潟支部	藤岡 修	169
77	秋田	県立羽後高等学校	4/30	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	85
78	大阪	府立高津高等学校	4/30	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部	廣瀬 隆一	361
79	沖縄	昭和薬科大学附属高等学校	4/30	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄支部	新里 稔	212
80	北海道	北海道名寄高等学校	5/6	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	旭川支部	後藤 博行	270
81	北海道	北海道札幌丘珠高等学校	5/6	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部	日下部 英明	846
82	青森	県立青森北高等学校	5/6	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	青森支部	渋谷 輝明 三上 順平	594
83	北海道	北海道札幌西高等学校 定時制課程	5/7	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	札幌支部	日下部 英明	31
84	宮城	宮城県名取北高校	5/7	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	東北支部	赤石 勉	807
85	東京	都立つばさ総合高等学校	5/7	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	北澤 一保	720
86	神奈川	県立秦野総合高等学校・定時制	5/7	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	神奈川支部	高木 孝	22
87	岡山	倉敷市立玉島高等学校	5/7	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岡山支部	建部 拓	65
88	北海道	札幌市立札幌新川高等学校	5/11	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	北海道支部	古川 浩	320
89	栃木	宇都宮文星女子高等学校	5/11	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木支部	田村 鋭夫	690
90	群馬	県立高崎北高等学校	5/11	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部	野間口 拓実	757
91	石川	小松市立高等学校	5/11	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	北陸支部	横田 龍夫	503
92	福岡	県立香住丘高等学校	5/11	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部	佐々木 泰斗	1,267
93	秋田	県立雄物川高等学校	5/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	横岡 彰	185
94	埼玉	武南高等学校	5/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉支部	宇木 一志	439
95	岐阜	県立大垣養老高等学校	5/12	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部	横井 信之	671
96	三重	県立桑名高等学校	5/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	三重支部	萱野 雄彦	1,000

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数
97	福岡	県立浮羽工業高等学校	5/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部 佐々木 泰斗	354
98	福岡	県立玄界高等学校	5/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部 庄島 恭博	941
99	宮城	宮城県柴田農林高等学校川崎校・ 支援学校岩沼高等学校園川崎キャンパス	5/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部 富澤 亮人	81
100	秋田	県立十和田高等学校	5/13	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	東北支部 川崎 幸一	117
101	長野	長野県飯田高等学校	5/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部 金子 公一	717
102	愛知	県立一宮工業高等学校	5/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部 石川 貴規	450
103	福島	県立福島南高等学校	5/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部 渡辺 周二	477
104	和歌山	初芝橋本中学校高等学校	5/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	和歌山支部 町田 英之	175
105	青森	弘前学院聖愛中学高等学校	5/17	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部 渋谷 輝明	509
106	岩手	県立宮古商工高等学校	5/19	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	東北支部 川崎 幸一	525
107	岩手	県立水沢商業高等学校	5/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岩手支部 青木 順哉	290
108	秋田	県立秋田西高等学校	5/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	522
109	新潟	新潟清心女子中学・高等学校	5/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	新潟支部 藤岡 修	192
110	熊本	県立八代東高等学校	5/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本支部 緒方 将	320
111	秋田	県立秋田北高等学校	5/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	700
112	福島	県立いわき総合高等学校	5/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部 渡辺 周二	199
113	栃木	県立国分寺特別支援学校	5/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木支部 田村 鋭夫	32
114	岐阜	県立武義高等学校	5/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜支部 大橋 義典	549
115	岐阜	県立各務原西高等学校	5/20	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 鈴木 勝彦	870
116	愛知	県立豊橋東高等学校	5/21	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 鈴木 勝彦	951
117	大阪	府立富田林高等学校	5/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部 廣瀬 隆一	480
118	兵庫	県立三田祥雲館高等学校	5/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部 岡田 裕己	718
119	熊本	県立八代高等学校・中学校	5/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本支部 緒方 将	484
120	茨城	県立土浦第二高等学校	5/24	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城支部 高橋 啓剛	320
121	宮城	宮城県仙台西高等学校	5/25	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部 佐藤 陽	760
122	福井	県立福井東特別支援学校	5/25	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井支部 儀賀 弘己	18
123	岐阜	県立可児工業高等学校	5/25	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 鈴木 勝彦	598
124	福岡	県立玄洋高等学校	5/25	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	九州支部 松永 寿一郎	655
125	北海道	北海道釧路工業高等学校	5/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	釧路支部 熊坂 利治	186
126	北海道	北海道室蘭栄高等学校(定時制)	5/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部 日下部 英明	43
127	宮城	宮城県松陵高等学校	5/27	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	宮城支部 富澤 亮人	680
128	山形	県立山形養護学校	5/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形支部 柏倉 保	16
129	長野	長野県野沢北高校	5/27	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部 竹島 亜機雄	600
130	長野	長野県下伊那農業高等学校	5/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部 金子 公一	452
131	愛知	県立名古屋工科高等学校	5/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部 石川 貴規	210
132	京都	京都共栄学園中学校高等学校	5/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	京都支部 柿谷 広明	149
133	福島	県立会津第二高等学校	5/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部 田代 秀之	23
134	兵庫	県立神崎工業高等学校	5/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	兵庫支部 岡田 裕己	140
135	大阪	東大阪大学柏原高等学校	5/31	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部 町田 英之	170
136	秋田	県立西目高等学校	6/1	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	109
137	秋田	県立大曲高等学校	6/2	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	623
138	福島	県立福島西高等学校	6/2	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部 渡辺 周二	210
139	秋田	県立秋田北鷹高等学校	6/3	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	627
140	北海道	北海道深川東高等学校	6/4	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	北海道支部 古田 博史	82
141	宮城	宮城県石巻高等学校	6/4	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城支部 富澤 亮人	616
142	福島	県立安達東高等学校	6/4	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	東北支部 佐久間 進	136
143	静岡	県立藤枝北高等学校	6/4	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡支部 原 康之	550
144	長野	長野清泉女学院中学・高等学校	6/5	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部 金子 公一	413

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数
145	福岡	県立筑後特別支援学校	6/9	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部 佐々木 泰斗	57
146	愛知	県立足助高等学校	6/10	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 古川 日出人	221
147	静岡	県立掛川東高等学校	6/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡支部 永谷 和俊	645
148	愛知	県立蒲郡東高等学校	6/14	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 鈴木 勝彦	160
149	秋田	県立六郷高等学校	6/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	159
150	福島	県立福島東高等学校	6/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部 渡辺 周二	760
151	秋田	秋田市立御所野学院高等学校	6/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	150
152	群馬	県立前橋東高等学校	6/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部 野間口 拓実	635
153	石川	県立金沢錦丘高等学校	6/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	石川支部 坪内 秀輔	320
154	福井	県立勝山高等学校	6/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井支部 義野 敏久	121
155	群馬	県立太田高等学校	6/17	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部 野間口 拓実	840
156	大阪	府立伯太高等学校	6/17	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部 川部 隆夫	440
157	島根	県立松江養護学校 乃木校舎	6/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	島根支部 伊藤 昇	18
158	広島	県立加計高等学校芸北分校	6/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	広島支部 田中 浩司	130
159	秋田	県立矢島高等学校	6/23	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部 横岡 彰	52
160	奈良	県立大淀高等学校	6/23	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	奈良支部 福田 剛	80
161	奈良	県立奈良朱雀高等学校	6/23	★ 地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター	萩野 法一	56
162	埼玉	県立松伏高等学校	6/24	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉支部 宇木 一志	550
163	福井	県立坂井高等学校	6/24	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井支部 義野 敏久	770
164	愛知	聖カピタニオ女子高等学校	6/25	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部 石川 貴規	165
165	山形	県立新庄神室産業高等学校	6/29	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形支部 柏倉 保	85
166	埼玉	県立春日部東高等学校	7/1	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉支部 宇木 一志	363
167	山形	県立新庄北高等学校最上校	7/2	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形支部 佐々木 憲人	53
168	茨城	県立潮来高等学校	7/2	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城支部 高橋 啓剛	118
169	愛知	豊橋市立豊橋高等学校	7/2	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	愛知支部 石川 貴規	130
170	佐賀	県立佐賀工業高等学校定時制	7/5	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	佐賀支部 川野 遼平	35
171	新潟	県立五泉高等学校	7/7	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	新潟支部 縄 一義	203
172	東京	都立昭和高等学校	7/8	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部 竹島 亜機雄	650
173	静岡	県立静岡北特別支援学校南の丘分校	7/8	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中部支部 古川 日出人	54
174	三重	県立北畠高等学校	7/8	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	三重支部 萱野 雄彦	230
175	熊本	県立八代工業高等学校	7/8	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本支部 緒方 特	220
176	北海道	北海道函館工業高等学校(定時制)	7/9	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館支部 中者 善元	52
177	愛知	県立一色高等学校定時制	7/12	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	愛知支部 近藤 雅樹	88
178	兵庫	県立農業高等学校定時制課程	7/12	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	近畿支部 森 好一	199
179	北海道	北海道美幌高等学校	7/13	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部 高橋 純	183
180	大阪	岸和田市立産業高等学校	7/14	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本自動車連盟	大阪支部 町田 英之	821
181	沖縄	県立浦添商業高等学校	7/14	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄支部 新里 稔	762
182	東京	都立石神井高等学校	7/15	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部 道家 謙太郎	289
183	島根	松江市立皆美が丘女子高等学校	7/15	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	島根支部 伊藤 昇	90
184	沖縄	県立宮古高等学校	7/16	○ 夜間の交通安全地策	日本自動車連盟	沖縄支部 新里 稔	744
185	千葉	県立我孫子高等学校	7/19	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部 竹島 亜機雄	340
186	東京	三田国際学園中学校高等学校	7/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京支部 由水 雅也	770
187	東京	桜丘中学高等学校	7/19	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部 村上 重隆	770
188	山梨	県立ろう学校	7/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山梨支部 丹澤 英之	24
189	北海道	北海道苫小牧工業高等学校定時制	7/20	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	北海道支部 古川 浩	70
190	北海道	北海道千歳北陽高等学校	7/20	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	札幌支部 山崎 清治	431
191	北海道	北海道留辺蘂高等学校	7/20	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	北海道支部 古田 博史	55
192	沖縄	県立南部農林高等学校	7/20	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	沖縄支部 前里 清光	516

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数
193	東京	三田国際学園中学校高等学校	7/24	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	東京支部	500
194	北海道	北海道網走桂陽高等学校	8/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	北見支部	387
195	大阪	府立春日丘高等学校	8/31	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	大阪支部	89
196	埼玉	筑波大学付属坂戸高等学校	9/7	★ 交通技術と社会のあり方 (自動運転と紛争解決)	I T S J a p a n	佐藤 昌之	12
197	秋田	県立大館鳳鳴高等学校	9/8	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	650
198	福島	県立白河第二高等学校	9/9	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	福島支部	70
199	埼玉	県立吹上秋桜高等学校	9/14	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	埼玉支部	300
200	秋田	県立十和田高等学校	9/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	121
201	愛知	県立一宮起工科高等学校 昼間定時制	9/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	88
202	長崎	県立大村城南高等学校	9/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長崎支部	387
203	熊本	県立人吉高等学校五木分校	9/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本支部	26
204	群馬	県立高崎高等特別支援学校	9/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬支部	108
205	愛知	県立稲沢高等学校	9/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	248
206	秋田	県立角館高等学校定時制	9/24	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	秋田支部	32
207	岡山	県立水島工業高校	9/28	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	中国支部	960
208	福島	県立いわき翠の杜高校	10/1	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	東北支部	30
209	秋田	県立秋田西高等学校	10/6	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	秋田支部	519
210	秋田	県立能代高等学校	10/7	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	秋田支部	571
211	岡山	備前市立片上高等学校	10/13	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	岡山支部	29
212	北海道	北海道富良野緑峰高等学校	10/15	★ 交通技術と社会のあり方	N A C	西村 直人	59
213	愛知	県立豊田工科高等学校	10/18	★ 地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野 法一	78
214	福岡	県立朝倉高等学校	10/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部	750
215	沖縄	県立石川高等学校	10/19	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄支部	369
216	栃木	県立鹿沼南高等学校	10/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木支部	140
217	大阪	府立りんくう翔南高等学校	10/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪支部	240
218	愛知	豊川特別支援学校 本宮校舎	10/25	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	愛知支部	260
219	福岡	県立大牟田高等学校	10/26	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部	440
220	大阪	東大阪大学柏原高等学校 3年	10/27	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	近畿支部	250
221	愛知	県立惟信高等学校	10/28	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	858
222	京都	府立工業高等学校	10/28	★ 地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野 法一	37
223	北海道	北海道札幌南高等学校	11/5	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	札幌支部	55
224	愛知	県立国府高等学校	11/8	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	626
225	長野	長野県高遠高等学校	11/11	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野支部	101
226	兵庫	尼崎市立琴ノ浦高校	11/11	★ 地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター	荻野 法一	12
227	徳島	県立徳島視覚支援学校	11/12	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	徳島支部	35
228	沖縄	県立那覇国際高等学校	11/12	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄支部	1,145
229	福島	桜の聖母学院中学校高等学校	11/18	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島支部	103
230	愛知	県立安城農林高等学校	11/18	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	275
231	福岡	県立水産高等学校	11/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部	448
232	愛知	県立惟信高等学校	11/25	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	35
233	奈良	県立山辺高等学校	11/27	○ 二輪車（バイク）の交通安全 高校生のための Safety Riding	奈良県二輪車普及安全協会	中谷 正志	9
234	北海道	北星学園大学附属高等学校	12/1	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部	281
235	鹿児島	県立喜界高等学校	12/8	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本自動車連盟	鹿児島支部	168
236	福井	県立坂井高等学校	12/13	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	北陸支部	246
237	兵庫	県立西宮南高等学校	12/14	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	近畿支部	480
238	沖縄	県立宮古工業高等学校	12/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄支部	200
239	秋田	県立大館鳳鳴高等学校 定時制課程	12/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田支部	71
240	徳島	県立阿南光高等学校	12/16	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	徳島支部	492

【資料1-2】令和3年度 講師派遣実績(交通社会教育)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ○：交通安全	講師派遣団体・会社		担当 (敬称略)	受講人数
241	宮城	宮城県石巻工業高等学校	12/17	★ 地球温暖化防止と自動車技術	次世代自動車振興センター		萩野 法一	35
242	東京	都立青梅総合高等学校	12/17	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	関東支部	竹島 亜機雄	696
243	千葉	県立船橋北高等学校	12/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉支部	花島 寛康	580
244	熊本	県立天草拓心高等学校	12/20	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本支部	緒方 特	305
245	千葉	県立八街高等学校	12/21	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉支部	花島 寛康	500
246	大阪	府立市岡高等学校	12/21	○ 自転車を取り巻くリスクとその責任	日本損害保険協会	近畿支部	木村 耕造	594
247	鹿児島	県立大島北高等学校	12/21	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	鹿児島支部	原山 大器	130
248	愛知	県立幸田高等学校	12/22	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	石川 貴則	736
249	東京	淑徳SC高等部	1/11	○ 交通事故を起こして問われる責任	日本損害保険協会	関東支部	道家 謙太郎	37
250	北海道	北海道月形高等学校	1/21	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌支部	日下部 英明	37
251	千葉	県立市川工業高等学校	1/27	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉支部	花島 寛康	200
252	北海道	北海道福島商業高等学校	2/1	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館支部	中者 善元	10
253	福岡	県立修猷館高等学校	2/17	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡支部	石橋 泰斗	840
254	徳島	県立富岡東高等学校羽ノ浦校	2/18	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	徳島支部	角田 義道	117
255	愛知	県立岡崎商業高等学校	3/3	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知支部	石川 貴規	529
256	埼玉	県立新座高等学校	3/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉支部	宇木 一志	380
257	和歌山	県立和歌山北高等学校	3/15	○ ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	和歌山支部	小山 真	560
258	埼玉	県立宮代高等学校	3/16	○ 夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	埼玉支部	井平 高史	395
交通社会教育計								87,315
自動車技術教育計								1,066
総合計								88,381

【資料1-3】令和3年度 講師派遣実績(PIUS特別講習)

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ	講師派遣団体・会社	担当 (敬称略)	受講人数
1	栃木	作新学院高等学校	7/28	PIUS特別講習（トライアル）	(株)村上商会	菊地 重人	14
2	大阪	市立堺高等学校	8/18	PIUS特別講習	(公財)日本自動車教育振興財団	清水 譲二	14
3	三重	三重県工業教育研究会	8/25	PIUS特別講習	(公財)日本自動車教育振興財団	清水 譲二	8
4	宮崎	都城東高等学校	9/14	PIUS特別講習	(公財)日本自動車教育振興財団	清水 譲二	41
5	静岡	飛龍高等学校	11/5	PIUS特別講習	(公財)日本自動車教育振興財団	清水 譲二	25
6	東京	都立練馬工業高等学校	12/7	PIUS特別講習	(公財)日本自動車教育振興財団	清水 譲二	17
合計							119

【資料２】令和３年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

■ 青森県

１．日時 令和３年１１月８日（月） １０：００～１１：３０

２．場所 青森県自動車会議所 ３Ｆ大ホール

３．出席者

(1) 来賓

青森県教育庁 学校教育課 高等学校指導グループ 指導主事 市島正幸

(2) 学校関係者

青森県立青森工業高等学校 校長 赤井茂樹

青森県立八戸工業高等学校 校長 竹谷孝治

八戸工業大学第一高等学校 校長 藤澤重信

(3) 協議会関係者

(一社) 日本自動車販売協会連合会 青森県支部 支部長 小野大介

(青森県自動車教育推進協議会 会長)

(一社) 日本自動車販売協会連合会 青森県支部 専務理事 石川善孝

(青森県自動車教育推進協議会 事務局長)

(公財) 日本自動車教育振興財団 常務理事 有賀潔

(公財) 日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太

(4) マスコミ

日刊自動車新聞社 東北支社北支局長 吉田雅仁

■ 岩手県

１．日時 令和３年１１月２日（火） １０：３０～１２：００

２．場所 ホテルメトロポリタン 盛岡 本館４階「りんどう」

３．出席者

(1) 来賓

岩手県教育委員会事務局 学校教育室 産業・復興教育課長 菊池郁聡

岩手県教育委員会事務局 学校教育室 産業・復興教育担当 主任指導主事 尾崎芳彦

(2) 学校関係者

岩手県立盛岡工業高等学校 校長 佐々木光男

岩手県立盛岡工業高等学校 教諭 小平創

岩手県立黒沢尻工業高等学校 教諭 辰柳祐司

岩手県立大船渡東高等学校 教諭 藤沼俊介

岩手県立宮古商工高等学校 校長 菅原一志

岩手県立福岡工業高等学校 校長 池田明宏

(3) 協議会関係者

(一社) 日本自動車販売協会連合会 岩手県支部 支部長 千葉理平

(岩手県自動車教育推進協議会 会長)

(一社) 日本自動車販売協会連合会 岩手県支部 常務理事 宮野和之

(岩手県自動車教育推進協議会 事務局長)

(一社) 岩手県自動車整備振興会 専務理事 幅英次

(公財) 日本自動車教育振興財団 常務理事 有賀潔

(公財) 日本自動車教育振興財団 部長 鈴木健太

(4) マスコミ

日刊自動車新聞社 東北支社 支社長 秋田憲作

岩手日報社 編集局 町中大悟

盛岡タイムス 編集局 川坂伊吹

■ 宮城県

1. 日時 令和3年11月18日(木) 13:30～15:00

2. 場所 ホテルメトロポリタン仙台 3F曙東

3. 出席者

(1) 来賓

宮城県教育庁 高校教育課 主幹

佐々木幸太

(2) 学校関係者

宮城県村田高等学校 教諭

戸村祐太

宮城迫桜高等学校 教諭

佐々木成視

宮城県登米総合産業高等学校 教諭

相沢牧彦

宮城県加美農業高等学校 校長

阿部幸弘

宮城県白石工業高等学校 教諭

阿部英

宮城県石巻工業高等学校 校長

渡邊重夫

宮城県石巻工業高等学校 教諭

及川浩司

宮城県古川工業高等学校 校長

大高和義

宮城県第二工業高等学校 校長

長田晃明

仙台市立仙台工業高等学校 教諭

小室孝博

仙台市立仙台工業高等学校(定時制) 副校長

柳瀬克紀

仙台市立仙台工業高等学校(定時制) 教諭

北舘孝幸

(3) 協議会関係者

(一社) 日本自動車販売協会連合会 宮城県支部 支部長

後藤誠

(宮城県自動車教育推進協議会 会長)

(一社) 日本自動車販売協会連合会 宮城県支部 専務理事

菊池憲満

(宮城県自動車教育推進協議会 事務局長)

(一社) 宮城県自動車整備振興会 専務理事

寺戸成周

(公財) 日本自動車教育振興財団 部長

鈴木健太

(4) マスコミ

日刊自動車新聞社 東北支社 支社長

秋田憲作

※ 後藤支部長、宮城県加美農業高等学校・阿部校長、宮城県第二工業高等学校・長田校長は贈呈式のみ参加

【資料 3】自動車技術教育の現状と課題に関するアンケート（サマリー）

対象：令和 3 年度自動車教育用教材提供校のうち贈呈式中止となった 12 府県 84 校

1. 自動車技術教育の現場の現状・課題について
(1) 自動車技術教育は何年次にどれぐらいの時間実施されていますか
自動車専科の減少や学科統合などの流れの中で、各学校において取り組みの違いが鮮明になっています。自動車専科以外では自動車技術教育の履修時間数は減少傾向にあるようです。学校によってはクラブ活動（エコデンレース参加）において実施しているとの回答がありました。
(2) 自動車技術教育の課題は何でしょうか
生徒の自動車の関心については地域によって違いはあるものの、全国的に見て低下傾向にあるようです。また教員側の人材不足について、課題を持たれている方も一定数見受けられました。 自動車の技術進歩と学校で学ぶこと（自動車の基礎）の乖離が大きく、技術の進歩に教育現場が追いついていない現状に危機感を持つとの意見が多くありました。
(3) 学生のクルマ離れの状況は如何でしょうか
生徒のクルマに対する価値観の変化（所有→使用に変化し、車は交通手段の一つ）に拍車がかかっている状況であり、学生のクルマ離れが進んでいることが多くの学校から報告されました。 買い物・娯楽・学習など生活がスマホで済み、生徒の関心を引くような事柄が世の中に氾濫している環境下であることや、クルマは販売価格や維持費の高さから所有することが難しくなっていることが原因となり、生徒のクルマ離れを加速させているとの回答がありました。
(4) その他課題があればご自由に記載ください
現在の教育現場の状況や現場が抱える様々な課題への回答がありました。 例) 技術の進化に教科書、教育現場が追いついていない。 自動車は面白いと思わせる授業内容を考えなくてはいけない。 等

2. 自動車技術者の人材育成に向けた課題と対策について
(1) 自動車関連への進学・就職の現状は如何ですか
自動車整備関連への就職・進学は減少傾向にあるようです。一方、自動車関連業界への就職等は生徒数の減少はあるものの、横ばいといった状況のようです。
(2) 自動車関連への進学・就職の課題は何でしょうか
整備士の待遇について改善（給与が安い、休日出勤など）を求める声が多数寄せられました。 また、待遇面の悩みから生徒へ積極的に勧めることが出来ないとの声がある一方で、進学においてディーラーからの奨学金制度を活用しながら進路指導を行っているケースもあるとのことです。
(3) 上記課題に対して学校として工夫していることがあれば記入してください
インターンシップや職場見学の実施による就業体験の増加に向けた取り組みや、地元のディーラーや整備振興会、専門学校等と連携を行い、外部講師による授業や講義を積極的に展開しているなどの回答がありました。 また ICT を活用した自動車関係の動画視聴など、新しいことに積極的に取り組みを行っている事例なども報告されています。

(4) その他ご自由に記載ください

生徒の増加を期待する一方、教員のレベル低下や指導員の不足を懸念する回答がありました。

3. 関係団体に対する質問・要望

整備士を増加させるような取り組みを求める回答が多く寄せられました。

また、3年次の10月に整備士資格を取得できるよう受験日程を変更してほしいといった具体的な提案もありました。

4. 財団に対する質問・要望（提供教材や講師派遣）

教材提供活動の継続を要望する回答とともに、提供する教材について様々なご意見やご要望が寄せられました。

例) 電気自動車主流になりつつあり、時代にあった教材提供をぜひお願いしたい。

オンライン授業の展開に当たり、更なる視聴覚教材の充実をお願いしたい。等

5. 技術系講師派遣について

(1) 講師派遣の活用志向を教えてください

地元のディーラーや自動車関連企業、整備振興会などから既に派遣頂いているとの回答が一定数ありました。

またコロナの影響で休校が多く、授業時間に余裕がなっていることから活用が難しいとの回答も複数ありました。

(2) 活用が難しい場合その要因は何でしょうか

一番の阻害要因は受講時間の確保との回答です。

またコロナに関するとの回答も一定ありました。

一方、夏休みなどを使い活用を検討したい等、前向きな意見も寄せられています。

令和 3 年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団